



JAPAN HANGGLIDING FEDERATION

JHFレポート

3・4月号
2002年

(社)日本ハンググライディング連盟 発行

<http://jhf.skysports.or.jp/>



富士山がソアリングを見守る。静岡県富士宮市猪之頭エリア。



1月の丹沢スカイグランプリより。今嶋功選手が優勝。

出発の季節。

春。

さまざまな出発がある。

新しい環境に戸惑うかもしれない。

行く手に障壁が現れるかもしれない。

でも、ペチャンコになっている場合じゃない！

「早く飛びにおいで」

空が呼ぶ春。

気象の変化に注意して楽しいフライトを。

JHFレポート 3・4月号

Contents

P 2 2001年の競技を振り返る

P 4 **安全講座** よく見る！

P 6 県連だより
鹿児島県ハング・パラグライディング連盟

P 7 県連ニュース

P 8 委員会の動き

P 9 DHV視察調査報告 -ドイツに学ぶ。

P10 JHF登録スクール一覧

P12 理事会ダイジェスト 理事活動報告

P13 **@sky** 空の楽しさ満載の情報ページ

2001年の競技を振り返る

世界選手権(ワールドエアゲームズ)が開催された2001年。

日本のハング・パラグライディング競技界にとってどんな年だったか。

曽我部真人、大澤豊両競技委員長に振り返ってもらおう。

海外でも活躍する日本選手

PG競技委員会 委員長 曽我部真人

2001年のパラグライディング競技を振り返って、まず目につくのはランキング上位をPWC参戦パイロットが占めていることです。それだけPWCや世界選手権、そして海外の舞台に日本選手が出場しポイントを稼げるようになってきている結果ではないでしょうか。

日本の大会を見てみると柏倉選手が総合でも6位に入賞。丹那、立山らいちょうバレーカップでの優勝が大きく影響しています。日本選手権大会も無事に成立し、主催者の皆さんの苦勞が報われました。大会終了と共に大会関係者が肩を抱き合って喜んでいて、選手の皆さんも意識していただきたいと思います。他の大会がどんなに成立しても日本選手権が成立しないことには、年間を振り返ってみても締まりのない一年になってしまうように感じられるのは私だけではなく、選手全員にとってもそうでしょう。

クロスカントリーでは、リーグ1位は逃したものの3月に坂谷秀夫氏が157kmという素晴らしい結果を残されました。今年もまた多くの方に新たな記録に挑戦していただきたいと思います。

昨年は7大会が成立しました。今年はそれ以上の成立に期待し、またクロスカントリーレコードが出たように条件に恵まれ素晴らしい大会になることに期待しています。そして、昨年同様に日本選手が世界の舞台で活躍してくれることを望んでいます。それがメディアで取りあげられ、パラグライディング競技を多くの人に知っていただくことにも繋がるのですから。今年は7月にヨーロッパ選手権がスロベニアで、来年7月に世界選手権がポルトガルにて開催される予定です。

もっとおもしろい競技を

HG競技委員会 委員長 大澤 豊

「ハンググライディングシリーズ」1年目が終わりました。一般の方から「ナショナルポイントシステムって何?」とよく聞かれ、それならわかりやすい名前にしようと昨年から「ハンググライディングシリーズ」という名称に。前年度ランキングの順位でゼッケンを付ける全員固定ゼッケン制度も採用。より充実したポイント競技をめざしましたが、天候に悩まされた一年でした。ほとんどの大会で、まともに競技をしたのは1本だったのではないのでしょうか。

そんな中でランキング1位になったの

は、二度目の日本選手権を勝ち取った大門浩二選手でした。日本選手権のポイント86点が効いたようです。注目の選手はクラス2世界選手権5位入賞の板垣直樹選手。前半の2大会に参加しないで4位はさすが。若手では、学生の松村貴博選手が11位にランキング。また前年から大幅にランクアップしたのは、50位から6位に上がった桂敏之選手、10位から5位にアップの高橋元樹選手、女子では26位から20位になった岡田明子選手というところ。

昨年はハンググライディングシリーズ対象大会は5戦のみでした。これは寂しい数字です。大会減の背後には、経済的な問題もあるでしょうが、競技のおもしろさが薄れているのではないかと思います。シリーズ戦開催地は限られており、毎回同じような内容では飽きもきます。新たなコースを開拓するなど、多くのパイロットが積極的に参加したいと思うような工夫が必要です。

今年は、パイロットも大会主催者も競技委員会も一丸となって「おもしろい大会」にする努力をしましょう。つまらないから参加しないのではなく、意見・要望をどんどん出して、みんなで競技を盛り上げていきましょう。

パラグライディング 2001年ランキング

ジャパンリーグ〔総合〕			
1位	加藤 豪	兵庫県	317.3点
2位	川地 正孝	神奈川県	267.8点
3位	西ヶ谷一志	埼玉県	255.1点
4位	辻 強	茨城県	247.3点
5位	扇澤 郁	富山県	246.4点
6位	柏倉 剛	山形県	184.4点
7位	只野正一郎	兵庫県	169.8点
8位	長島 信一	埼玉県	154.5点
9位	高木 弘志	愛媛県	133.9点
10位	川口 竜太	愛知県	124.2点

ジャパンリーグ〔女子〕			
1位	高藤とよ子	大阪府	61.7点
2位	和田 有加	東京都	49.5点
3位	佐藤 明美	石川県	47.7点
4位	田中美由喜	東京都	30.2点
5位	田中 輝実	大阪府	28.4点



ジャパンリーグ 総合1位

加藤 豪さん

27歳 パラ歴9年
インストラクター

ジャパンリーグチャンピオンになるのは1997年に続いて2回目です。2001年はPWC

に初めてプライベート参加しました。その結果、ジャパンリーグチャンピオン、PWCランキング18位と、これまでで一番良い成績で01年を終える事ができ、97年以上に充実した1年になりました。いつも暖かく応援してくださっている皆さん、ありがとうございました。

最近、小さくて高性能なアクロバットにぴったりの機体に出会えました。今シーズンは、PWCでももちろん、アクロバットの大会にも出場し、結果を出せたらと思っています。

僕は青垣町(兵庫県)の岩屋山で飛んでいます。このエリアでは冬の間も上手なパイロットが飛んでいます。皆さん良かったら飛びに来てください。



ジャパンリーグ 女子1位

高藤とよ子さん

35歳 パラ歴6年、フライト600時間
Jリーグ歴4年 会社員(事務)兼、子ども2人(中3・小5)のお母さん

乗った機体:ディスクス1000、セーバー、ベルテックス、ブーメラン、ブーメラン。戦歴:1998年岩屋XC優勝、2001年Jリーグ丹那女子優勝・立山女子3位。ちょっと上手な人のような感じがするが、自分で上手と思った事はない。空の上で、困った困ったと思いながら飛んでいる。でもたまに、感動する事があって、それは綺麗な景色の時もあれば、よく頑張った自分自身であったりする。コンペは私にとっては、技術・環境共に、精一杯でなければついていけないし、楽しむ余裕はないのが実際のところ。けれど、縁あって道が開けて続けられたものを、自分から投げ出しは行けないと我慢我慢の1年だった昨年、夢で終わるかと思ったJリーグ女子1位を手にすることが出来た。「あきらめないやつを負かす事はできない。」ペープ・ルースのこの言葉を、明日からの私自身と頑張っている女性達に贈りたい。

SPS(スポーツパラグライダーシリーズ)

1位	永井 敏夫	兵庫県	1346.0点
2位	岡本 菊夫	東京都	1302.0点
3位	山崎 義男	愛知県	1200.0点
4位	佐藤 隆宏	鳥取県	900.0点
5位	佐名木真吾	愛知県	800.0点
5位	角田 尚久	三重県	800.0点
5位	高門光太郎	石川県	800.0点
5位	亀井 久和	大阪府	800.0点

5位	田畑 真毅	大阪府	800.0点
5位	林 斉	大阪府	800.0点
5位	古川 健一	大阪府	800.0点
5位	三澤 稔	鳥取県	800.0点
5位	八子 文恵	愛知県	800.0点
5位	松嶋 洋造	兵庫県	800.0点
5位	福田 紀之	京都府	800.0点



SPS1位
永井 敏夫さん

43歳 185cm ノッポ
の「週末空中人」

SPSに参加したのは3年前からです。私がSPSに魅力を感じ、仕事の合間を縫って参加したのは、サンデーパイロットでも参加できること、また一定の機体条件で行うため、選手は目標を持って「観察力」「判断力」「粘り」のあるフライトテクニック等を養うことができるからです。競技内容はもちろんパーティや表彰式を含め、趣向を凝らした楽しい雰囲気作りは各主催者のご努力によるものだと思います。また、各地に大会仲間が増えたことも参加の楽しみのひとつとなりました。

2001年のSPSは大会登録数が4大会と、例年になく少ない年でしたが、私にとっては、それぞれに印象深く、中でも菅平カップは僅差で勝負が決まる、とてもシビアなものでした。結果としてうれしい総合1位となりましたが、もっと数多く大会をこなしたかったと思います。今年もSPSに積極的に参加し、いろいろなエリアで風・人との出会いを楽しみたいです。そして、ゴールにランディングして「フ・楽しかった」といえるようなフライトをしたいです!

SPSの事前選手登録制の廃止は、気軽に競技に参加できる方向のひとつだと思いますが、SPSを盛り上げるためには、SPSの存在自体を一般フライヤーや各エリアにもっと強力にアピールする必要があります。JHF-SPS専用ホームページの開設や雑誌への広告など積極的な宣伝活動をしてはどうでしょうか。



SPS女子最高位
(5位)
八子 文恵さん

34歳
パラ歴7年

2001年はSPSを含め幾つかの大会に参りました。今年もできるだけ多くの大会に参加したいです。私にとって大会は上手な人と一緒に飛べること、自分を知るチャンスであること、そして自然と向き合い、自分にも向かい合うことです。うまくいった時もそうでない時も、全部積み重ねて次の飛びに生かしたい、と思っています。みなさんも一緒に大会に参加して腕を磨きましょう!

クロスカントリーリーグ			
1位	竹内 俊二	茨城県	計468.8km
2位	関口 典彦	千葉県	計369.9km
3位	横堀 清	茨城県	計298.1km
4位	坂谷 秀夫	茨城県	計290.0km
5位	仲野 勝明	栃木県	計257.2km
6位	和田 有加	東京都	計171.2km
7位	三宅 立晃	北海道	計141.2km
8位	斉藤 竜男	東京都	計130.6km
9位	伊藤 和寛	茨城県	計129.7km
10位	宮沢 淳	東京都	計128.4km



クロスカントリー
リーグ1位
竹内 俊二さん

34歳 パラ歴9年
会社員

2000年に実現できなかった目標の黒羽越え。昨年はその念願も叶って郡山市から10km先の本宮町にランディングし、140kmもの距離を飛行できたことは特に嬉しかったフライトです。その後4月に入ってからたて続けに127km、97km、103kmと4本とも良い結果を揃えられたのも、連絡や回収をしてくれた仲間のおかげです。ご存じの通りクロカンは一人で飛ぶものですが、回収やサポートがあってこそ安心して記録に専念できるものです。

私の所属しているチームGにはまだまだ強者がいます。2000年もチーム内からクロカチャンピオンが出ました。そして2001年は私。2002年もチームGからチャンプを出して、3年連続クロカリーグ制覇を遂げることができたらと思っています。私個人の目標は100マイルオーバー1本にこだわっていきます。



クロスカントリーリーグ
女子最高位(6位)
和田 有加さん

33歳 パラ歴9年
会社員

昨年約70kmを2本飛ばせてもらいました。これは足尾の地形と気象条件の賜物で、私は機会を頂いただけです。長く飛んでいたいという単純な思いから風に流されていったのが正直なところです。そして無事ランディング。安全に降りる事、これが一番大事。だから素晴らしい思い出になりました。こうやって元気に飛べるのは、私の師であるTAKさんをはじめ応援して下さる皆さんのおかげ。心から感謝しています。

ハンググライディング2001年ランキング

ハンググライディングシリーズ			
1位	大門 浩二	茨城県	185.62点
2位	大沼 浩	茨城県	155.63点
3位	今嶋 功	鳥取県	150.30点
4位	板垣 直樹	茨城県	150.19点

5位	高橋 元樹	千葉県	149.25点
6位	桂 敏之	茨城県	140.21点
7位	鈴木 博司	三重県	140.13点
8位	峰岸 正弘	茨城県	139.52点
9位	山本 貢	茨城県	138.55点
10位	平林 和行	茨城県	138.14点



ハンググライディング
シリーズ1位
大門 浩二さん

36歳
ハング歴17年

2001年に1位になったのは日本選手権のポイントが大きい。また、プレヨーロッパ選手権の6位は良かった。いい顔ぶれの選手が多く出場しており結果にとっても満足している。国際シードが15名も出場して純粋に競技を楽しめた。ランキング1位は狙っていたわけではなく世界選手権に出場できる6位までに入れたいと思っていた。

日本の競技については、競技日程の関係もあって難しいのかもしれないが、メリハリのあるタスクで競技を開催して欲しい。レースができるタスク、粘って粘ってやっとゴールできるタスク、生き残りゲームのようなタスク(クロカントタスクのような)というようにもっとメリハリを出した方がいいと思う。



ハンググライディング
シリーズ女子最高位(20位)
岡田 明子さん

40歳
ハング歴11年

大会にもいろいろな楽しみ方があります。ホームエリアとは違う空が飛べます。上手な選手と一緒に飛んで「何であんなに早いんだろう」「どうしてあそこを飛んでいたんだろう」と、自分とは違う飛びに気が付くのも楽しいものです。また、質問すれば、一流選手はみんな親切に教えてくれます。大会は、自分が上手くなるチャンスです。もちろん自分の成績が良ければ嬉しいし「私って上手いじゃん...」という気分が一時浸ってみることもできます。逆に判断ミスを反省することの方が多くありますが、次には、ちょっとでも上手くなっているはず。

女性ということでのハンディは体格、特に身長にあると思います。でも、いろいろな工夫で飛ぶことは楽しくなります。ハンググライダーを始めて十年余、まだ少しずつ上手くなっているようです。始めた頃に聞いた「上手くなればなるほど楽しい」は、本当です。

2001年は気象条件に恵まれた大会が少なかったのが残念。今年も大会には万障繰り合わせて参加しようと思います。

クロスカントリーリーグ
2001年の登録はありませんでした。

よく見る!

飛行の安全度はフライヤーが持つ情報量に大きく左右される。見る、聞く、嗅ぐ、肌で感じることによって吸収した膨大な情報を元に、フライヤーはその場に相応しい機体操作をする。今回は最も大切な情報収集方法である「見ること」を考える。

ぐっちゃんぐっちゃんにひしめくサーマルの中で、あちこちから罵声に似た声が行き交っている。「うー!」「うわぁ～」「アブねえぞ!」。成長途上のサーマルにすぎないようにパイロット達が引き寄せられ集まってくる。誰もがそのサーマルを逃さぬように必死にしがみついている。

よくフライトエリアで見かける光景ですが、こんな様子を見かけると子どもの頃に読んだ「蜘蛛の糸」を思い出します。

地獄にいる主人公である陀多(かんだた)が生前蜘蛛を助けたことをお釈迦様が思い出し、蜘蛛の糸を垂らし救いの手をのべようとしますが、陀多は自分だけが地獄から抜け出そうと、「こら、罪人ども。この蜘蛛の

糸はおれのものだぞ。お前たちは一体誰にきいて、のぼって来た。下りる。下りる。」と言ったとたんにプツンと糸が切れてしまうといった寓話です。

想像ですが、陀多は下から上がってくる人々に気づかなかつたら、無事に最後まで糸を昇りきり、みんなで地獄を抜け出せたことでしょう。

「見ること」の重要性

多機がひしめくサーマル内では、相手の存在に気付かず雲底まで行くなんてことはあり得ないことですし、もし本当に他機の存在に気付かなかつたらただの危ないヤツでしかありません。当然のことながら、実際

のフライトでは他機が存在を認識し、同高度であればアイコンタクトを交わしたりと「見る」ことが大変重要になります。

人間は外部からの情報の約80%を視覚からの情報に頼っていると言われていて、残りの情報を聴覚や嗅覚等々から得ているわけで、先のフライトの話の中での「声」によって、視覚で拾いきれない情報を聴覚で補っていることとなります。もし人間の目が魚のように顔の側面に付いていたら、きっと視界は広がり、ゴーグル内は静かになるかもしれませぬ。

頭を動かし視界を確保

実際に人間の目の視界はどれくらいなの

あなたは好コンディションの中、テイクオフしようとしています。何を見て、何に注意すればいいのでしょうか。

機体のチェックは完璧ですか？
破損や組立ミスがないか、ラインのからみがないか、最終チェックをしましょう。

正しくハーネスを装備していますか？
バックルが正常にロックされているか、閉めておくべきファスナー等が開いていないか、確認しましょう。

ハーネスと機体は正しく連結されていますか？
フックベルト、ライザー(ハンググライダーではスイングライン)はきちんとカラピナで連結しているか、ねじれ等がないか、確認しましょう。

正しいフォームで待っていましたか？
風待ちをしている時にバックルを外さないようにしましょう。ハングではカラピナのかけ忘れのないように。

テイクオフの風はどうですか？
まずは落ち着いて、顔に風を感じましょう。風の向きや強さ、安定しているかどうか、しっかり見極めましょう。

テイクオフの周りに既に飛んでいる機体はいませんか？
左右だけでなく、下や上に機体が飛んでいないことを確認しましょう。

近くを飛んでいる人、周りの人はあなたに気付いていますか？
声を出して、テイクオフすることを宣言しましょう。

でしょうか。個人差があるとは思いますが、両目で横180度弱、縦で90度弱くらいはあるのでしょうか。この範囲はあくまでも固定した状態ですし、人間の目は絶えず動いて視界を確保しています。また頭を上下左右に動かすことによってより視界を広げることができます。まだフライト経験の浅いパイロットは、この頭を動かすといった簡単な動作が緩慢になっています。日常なら考えもせず何気なく頭を動かすことができますが、非日常である空中となると日常のことすら簡単にできないものなのです。なぜ簡単にできないのでしょうか。理由は簡単なことです。生活の経験から、落ちれば重大なことになることを想像し、体が硬直してしまいがちだからです。パイロットの経験が豊かになればなるほど、フライト中は絶えず頭が動いています。頭だけではなく体全体を動かしてより多くの視界を確保しようと努めています。

苦手な旋回方向も

「見る」ということは、他機警戒や山際との間隔認識等々は当然ですが、実は旋回方向の得手不得手にも関係しています。多くのパイロットにあると思われる「右旋回は得意だけど、左は苦手なんだよね」といったことです。この旋回の得手不得手は、視界による情報の偏りに原因のひとつが考えられます。それは「利き目」*です。例えば

利き目が右目だとしましょう。右目が利き目ですから、もし左旋回をしようとする時、左側の情報をより多く得ようとする、体全体を左にひねることになり、より多くの視界が確保されます。すなわち、体がしっかりと左に入るわけですから、体重移動がしっかりと行われていることになります。逆に右旋回は、右側の情報を利き目によって十分確保されていますから、体を右側に入れなくて済んでしまいます。この視界を確保する上で、体を入れる、入れないといった動作が旋回方向の得手不得手を作っている要因のひとつと考えられます。もっとも利き腕や力の強さにもよるので、これだけが原因とは一概に言えませんが、もし自分はこの例に当てはまっていると思ったら、旋回時に意識して左右同様に体を動かしてみてください。

他機ばかり注視するのは危険

私たちの目はとても性能が良く、ピントや明るさの調整を自動的に行ってくれます。写真を撮る人ならお分かりでしょう。望遠レンズを使って、遠くの被写体を捉えるとき、この時、ファインダーの中では被写体は大きく映りますが、被写体の周りはどうでしょうか。被写体は事細かく鮮明に映しだされますが、その周りはぼやけてしまい、またファインダーから外れてしまいます。

人間の目も同じことが言えると思います。隣接するゴーグル内では、他機に注意がいき、そればかりが気になって注視してしまいます。こうなると、注視しているものは良く見えていますが、その周りはぼやけてしまい、認識が薄くなりがちです。極端に言うなら注視しているもの以外は見えなくなってしまうのです。こうなってしまうと、多くの機体が隣接するゴーグル内では、危険極まりない状態です。

もちろん危険回避の為に旋回方向の統一やルールが存在するわけですが、パイロットは感じ方も考え方も、また技量もそれぞれ異なります。当然、ルールの捉え方も反応の仕方も様々です。自分だけがソアリングしているのならそれでいいですが、空は誰のものでもなく、サーマルはなによりもフライヤーのごちそうなのです。おいしいものをみんなで分け合う、そんな気持ちが大切でしょう。

安全にフライトする、また極上の空気を楽しみながら雲底へ行くためには、「よく見る」ことが大変重要なのです。それには視界を広くとり、他機の動きや周辺の状況を読みとり、お互いに尊重することが雲底への近道となるのではないのでしょうか。

広報出版局 松原正幸

*ひとつの対象を両目と片目で見てください。対象の見える位置が両目で見た時とあまり変わらない方が「利き目」です。

あなたはテイクオフ前のサーマルでソアリングをしています。何を見て、何に注意すればいいのでしょうか。

旋回方向はルール通りに行っていますか？

エアリアルルールに従って旋回をしましょう。旋回中心が同じサーマル内の他機とずれないように。

旋回方向に山や木などの障害物、また機体がないですか？

旋回を始める前に、自分の進行方向の視界を確保し、しっかり確認しましょう。

下から機体が上がってきていませんか？

上方への視界は機体で遮られているので、上に位置するパイロットがよく気を付けましょう。

ゴーグル内に進入してくる機体がいませんか？

お互いにアイコンタクトをとりましょう。声をかけるのもいいでしょう。

サーマルに流されて障害物や乱流がありそうなところに近付いていませんか？

周りの地形等々を確認し、自分の位置を把握しておきましょう。

雲底はまだですか？

雲底に近づくほど上昇率が増すことが多いので、早めに余裕を持って離脱しましょう。

撮影協力：スカイ朝霧

県連だより



吉松エリアにて、霧島連峰をバックにフライト。

鹿児島は陸・海・空スポーツの楽園。 鹿児島県ハング・パラグライディング連盟
理事長 池田 善文

鹿児島県連の概要

九州最南端に位置する鹿児島県連は、平成6年に発足し、現在約50名で活動しています。

地理的に県中心部に錦江湾があったり、南北に連なる数多くの離島があったりと不便な面もありますが、アウトドアスポーツ愛好者にとっては陸・海・空どれをとっても楽園です。

主な鹿児島県連の活動

競技会

毎年1回、日選の選考会を兼ねた県連主催の競技会を開催しています。昨年は天候に恵まれず開催できませんでしたが、今年は時期的にも考慮した日程で開催しようと思っています。また、鹿児島県内で開催される大会への後援等も行っています。

安全講習会

安全委員会により、救命法やレスキューパラシュートのリバックなど必要最低限の知識、技術を学ぶために講習会や講演会等を開催しています。

エリア紹介

入来エリア(薩摩郡入来町)

P Gは通年、H Gは秋～春にかけてフライ



亀が丘エリアから吹上浜に向けてテイクオフ。

トが可能となります。高度差は280m。県西部川内市から車で20分と、アクセスしやすいエリアです。このエリアの魅力はそれだけではなく、県立蘭半田池公園の西側に位置し、東シナ海眺望駐車場横にテイクオフがあるので、眺めは最高。さらに、西向きで全面芝。使用料はなんと無料。管理棟・トイレを完備しており、練習バーンもあって、L.D付近には格安温泉が多数あります。冬のフライトで冷えた身体を暖めるのに最高です。トップランも可能で、中高年向けのエリアとしておすすめ。入来エリアでは、毎年7月中旬にP Gの大会を開催しています。ぜひご参加ください。連絡は県連事務局まで。
吉松エリア(始良郡吉松町)

県北部に位置する吉松は盆地特有の良好なサーマルが発生しやすい地形。また、風向きに応じて3エリアで全方向フライト可能です。エリアの移動もわずか30分ぐらいでフライト確率はかなり高いです。毎年、矢岳高原ブルースカイフェスタ(8月25日を予定)、パラグライダーカップよしまつ(11月初旬)を開催しています。誰でも参加でき、多くのフライヤーが楽しんでいただける大会です。
[魚野エリア]

北東～東南東の風がよいエリアです。高度差は300mで、P GもH Gもフライト可能です。テイクオフモランディングもプレッシャーを感じさせない十分な広さがあり、よく整備されています。河川敷を利用してのクロカンも可能です。

[矢岳高原エリア]

南東～南向きのエリアで、高度差は420m。P G・H G共にフライト可能です。正面に霧島連峰を見渡せるロケーションがすばらし

いエリア。空域が広いので思う存分にフライトを楽しむことができます。

[馬頭エリア]

北西～南西向きのエリアで、高度差は100m。P Gのみのエリアです。高度差はあまりないですが、条件によっては1000mゲインも可能なのです。主に、リッジソアリングが楽しめるので、初心者から楽しめるエリアだと言えます。

亀が丘エリア(川辺郡大浦町)

P Gのみのエリアで通年フライト可能です。高度差は300m。県南西部、日本三大砂丘のひとつ吹上浜の南端に位置し、テイクオフ・ランディングともに道路が完備しています。回収が早く1時間に5本の記録もあるのです。毎年、初日の出フライトが行われ、薩摩富士(開聞岳)から昇る朝日は感動します。

大野岳エリア(揖宿郡穎娃町)

P Gのみのエリアで一年を通してフライトが可能です。高度差は300m。薩摩半島最南端の開聞岳を望む風光明媚なエリア。独立峰のため四方へクロカンできます。南東風なら指宿スカイラインを北上できるので。なお、現在行政と調整中のため、地元クラブ員が同伴のときのみの使用となります。ご協力ください。

このほかにも大隈半島や離島を含め多数フライトエリアが存在します。安全で楽しいフライトを心掛け、ぜひ南国鹿児島でのフライトをお試しください。

鹿児島県連への問い合わせは下記まで
事務局 TEL.0993-62-3722 (田原嘉之方)
E-mail:kagoshima_hpf@mac.com

県連ニュース

宮城県ハンググライディング連盟

[指導者講習会を開催しました]

去る12月9日に、県連教習委員会主催の指導者講習会が宮城厚生年金スポーツセンターで開かれました。当日は約30名(他にビジター10名くらい)の教員・助教員が参加し、朝9時から夕方5時まで熱心に行われました。救急法、ツリーラン講習、日本のトップパイロットである長島信一氏の講演会という内容でした。長島氏の講演には一般フライヤーの参加もでき、有意義な話を聞くことが出来ました。また、この講習会には、山形県連からの参加者があり(教員・助教員の更新を受ける際に県連からの推薦を受ける場合には、宮城・福島・山形で開催のいずれかの指導者講習修了書が必要となるため)両県連の活動状況などを講義の間に話し合い、講習会を終わりました。[記:今井政秀]

埼玉県ハング・パラグライディング連盟

[県連主催大会のお知らせ]

埼玉県連主催のパラグライディング大会を以下のとおり行います。ふるってご参加ください。

大会名:2001saitama-cup in 長瀬

開催日:4月20日(土)・21日(日)

場所:長瀬エリア<埼玉県長瀬町野上>

募集人員:40名

参加費用:県連会員9000円/非会員10000円

詳しくは、埼玉県連事務局までお問い合わせください。TEL:048-882-2730

E-MAIL:info@genese.co.jp [記:渡辺]

山口県ハング・パラグライディング連盟

[レッグベルト締め忘れ防止ロープの

義務付け その後]

各地でパラグライダーハーネスのレッグ

ベルト締め忘れによる事故が多発した昨年、6月1日より、山口県連、高照寺山エリアでは、レッグベルト締め忘れ防止ロープ装着の義務付けを開始しました。

高照寺山エリアでも、過去に2件、直前にも2件の締め忘れが発生しましたが、幸いにも大事には至りませんでした。

防止システム付きのハーネスも増えていましたが、義務付けを決めるにあたって、未装備の人にあまり負担をかけては.....とエリアの会で支給することにし、試行錯誤の結果、1セット175円で出来上がりました。

このシステムは、本人は「音」で確認でき、第三者からは「目」で確認できるものです。昨年6月の義務付け以来、6ヶ月が経ちますが、この間締め忘れは1件も発生していません。

安価で出来るシステムですので、導入をお考えのエリアは、山口県連事務局の江本俊信TEL.0827-38-0684までご連絡を。

また、高照寺山エリアでは、ビジターの方には「無料貸し出し」を行っていますので、お気軽にご来山ください。[記:江本俊信]

長崎県ハング・パラグライディング連盟

[長崎は追い風のスタートとなった!]

長崎では、年明け早々より天候不順で、今年の初飛びは1月6日(日)となりました。猿蓑山エリアでは久しぶりの好天に恵まれ、獲得高度1300m超での島原ルートクロカンフライトと県連メンバーが達成しました。島原半島のど真ん中には雲仙普賢岳がそびえ、山頂の溶岩ドームを眺めながらのフライトは雄大そのものだったと語ってくれます。他のエリアから見ると、たかが1300mとか、わずか数10kmのXC...とか思われるかもしれませんが、狭くて起伏の

激しい長崎の地形ではかなりのテクニックを要するルートなのです。メンバー同「狭いながらも楽しいエリア」と自負しています。猿蓑山エリアは好天になると冬でも南風が入る絶好のエリアです。この日はまたとないコンディションに恵まれ、小浜温泉ルートや吾妻岳ルートに挑戦したメンバーもいました。長崎県連フライヤーにとって2002年はまさに幸先の良い追い風のスタートとなりました。[記:岡本修]

県連ニュース番外編

福岡県連の越智さんから鹿児島県で開催された大会の報告です。前ページの鹿児島県連だよりと合わせてお読みください。

2001パラグライダー吉松カップの報告

11月17・18日の両日、鹿児島県吉松町において、2001パラグライダー吉松カップが開催されました。17日は天気予報を聞き、「上床エリア」に決定しました。最初フォローだった風が、午後1時過ぎにはおさまり、ゲートオープン。タスクは「吉松方式のゴールレース」でした。一番最初に一番速くのゴールにたどり着いた者が勝ち、という単純なルールです。上床エリアとしては渋いコンディションの中、神野選手が粘ってゴール。誰もが神野選手の一人勝ちと思ったのですが、なんと南選手が地元の利を活かしてゴール。タイム差で逆転し、この日のトップとなったのです。迎えた18日は、前日以上に渋いコンディションとなり、そんな中、上田選手だけがゴール。この日のトップとなりました。総合で、初日1位の南選手と同点となったのですが、ローカルルールに基づき、南選手の優勝となりました。

[記:越智善治]

カレンダー

場は開催地、連は連絡先です。予定は変更になる場合がありますので、お出かけの際は事前に必ずご確認ください。

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
3月				1	2	3
	4	5	6	7	8	9
	11	12	13	14	15	16
	18	19	20	21 <small>春分の日</small>	22	23
	25	26	27	28	29	30
						31
MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
4月	1	2	3	4	5	6
	8	9	10	11	12	13
	15	16	17	18	19	20
	22	23	24	25	26	27
	29 <small>みどりの日</small>	30				

丹那PGフライイン2002

2月23日・24日 場静岡県田方郡函南町 函南グライダーパーク 連大会事務局(イクス内)TEL.0559-74-3439

第6回全日本学生

ハンググライディング選手権

3月11日~14日 場広島県神の倉周辺プライベートエリア 連実行委員会代表 大田祐輔 TEL.0824-25-4844

JHF3月定例総会

3月20日 場東京都主婦会館プラザエフ

2002板敷山スプリングフライト(HG)

3月20日~24日 場茨城県八郷町板敷山エリア 連大会実行委員会代表 大沢豊 TEL.0299-43-6952

PARAGLIDER STUDENT FESTIVAL!!

3月25日~27日 場茨城県八郷町足尾エリア 連実行委員会事務局 伊藤拓 TEL.090-5395-21434

JリーグNASA CUP(PG)

3月29日~31日 場茨城県八郷町足尾エリア 連実行委員会 日下部はく TEL.0299-44-0889 E-mail:haku89@dream.com

2002足尾山オープンカップ(HG)

4月6日・7日 場茨城県八郷町及び真壁町足尾山フライトエリア 連日下部はく TEL.0299-44-0889

E-mail:haku@tomato.saino.ne.jp

リジットウイング NASA CUP 2002

4月12日~14日 場茨城県八郷町足尾山フ

ライエリア 連日下部はく

TEL.0299-44-0889

E-mail:haku89@dream.com

*世界選手権出場選考大会。FAIカテゴリ-2の予定

2001saitama-cup in 長瀬(PG)

4月20日・21日 場埼玉県長瀬町野上 長瀬エリア 連埼玉県連事務局TEL.048-882-2730 E-mail:info@genese.co.jp

2002年ハンググライディング

日本選手権

4月28日~5月4日 場山形県南陽市南陽スカイパーク 連大会事務局(ノブエアークトリー内)TEL.0238-43-2927

E-mail:nobair@nyc.odn.ne.jp

*FAIカテゴリ-2公認大会です。参加者はスポーティングライセンスが必要です。申請書はHG競技委員会のホームページからダウンロードできます。

http://tomato.saino.ne.jp/haku/

JHF-HG.html

委員会の動き

PG競技委員会 委員長 曾我部 真人

2002年度ジャパンリーグがスタートし、このレポートが出る頃には第一戦が静岡県丹那で開催されます。

2001年度は12大会が予定され、その中で7大会が成立しました。成立タスク10本中、20kmタスク7本、30kmタスク2本、40kmタスク1本という結果になりました。

メキシコで行われたPWC第一戦では、加藤豪選手が6位、只野正一郎選手が9位に入り率先の良いスタートが切れたのではないのでしょうか。2002年度から新たに導入されたチーム戦でも興味深い対象になってきそうです。

ジャパンリーグという性格上、主催者の皆さんや選手の皆さんの負担も大きく、大会数、出場選手共に減少してきていますが、ジャパンリーグは、あくまでも世界へのセレクションのための選手育成の場であり、世界で戦うためのトレーニングの場であると考えています。そんな中でもリスク少なくクロスカントリーフライトを楽しむために出場していただいている選手にも、世界で戦う選手と同じ空域を飛ぶことでレベルアップを図っていただければと思います。

HG競技委員会 委員長 大澤 豊

ハンググライディングシリーズの次の開催は、3月20日～24日の「2002板敷山スプリングフライト」が予定されています。また、公認大会では、4月6日・7日に「足尾オープンカップ2002」4月12日～14にクラス2（リジットウイング）の大会が予定されています。詳細はホームページに掲載していますのでご覧になり、どしどし参加してください。また、「第16回西富士ジャンクラシック」第13回丹沢スカイグランプリ、「2002関西選手権」の大会結果もホームページに掲載しています。

今年からGPSがバックアップとして使用できるようになり、判定が早くなり選手に大変好評です。現在試行錯誤しながら、よりよくしていこうと努力しています。これから参加される方は是非GPSにて参加してください。使用できるGPSは各主催者にご確認ください。

2002年度日本選手権開催地は、山形県南陽市の南陽市スカイパークエリアに決定し、開催日程は4月28日(日)～5月4日(土)の7日間です。また、FAIカテゴリー2の公認を予定していますので、参加予定の選手はスポーティングライセンスの取得を忘れずに！申請用紙はHG競技委員会のHPからダウンロードできます。

尚、事務局にメールをくだされば競技委員会インフォメーションをお送りします。HG競技委員会事務局 FAX.0299-44-1346 E-mail:haku@tomato.saino.ne.jp http://tomato.saino.ne.jp/

haku/JHF-HG.html

教習検定委員会 委員長 小野寺 久憲

教員研修検定会について

1月22日現在、残念ですが検定会開催日程はまだ決まっていません。理事会及び関係各所と鋭意調整中です。このレポートが皆さんのお手元に届く頃までには決定しているようにと考えています。受検希望の方々には大変ご迷惑をお掛けしていますが、もう少しお待ちください。

教員の更新講習義務化について

このことについてアンケート調査が実施され、その集計結果が発表されています。教習検定委員会では、教員の資質向上と、教育方法の統一化、新しい知識の伝達などを考慮し、完全義務化すべきの方針を示しているところですが、集計結果は義務化に賛成する方が僅かに多いものの、決断するにはもう少し意見交換が必要と思われる状況です。義務化について、引き続き皆様のご検討をお願いいたします。

補助動力委員会 委員長 山崎 勇光

ハング、パラとは言わず航空スポーツが大衆スポーツとはなりえない所は何だろうか。危険が伴うためと多くの方は答えるだろうが、はたしてそれだけか。航空イベントと名の付く場合は数万人の人々がスリルと自分の果たせぬ夢を求めて集まって来るようである。確かに航空スポーツは金も時間もかかるが、ハング、パラは別で、他のスポーツとの類似点もある。では、問題は何かだろうか。君もあなたも一緒にやりましょうと声をかけづら、もし誘った人が怪我でもしたら、自分だけの優越感に浸りたい……様々だと思う。庶民と一体になれない。見る側もやる側も一緒に楽しくなる所が無いのである。

ハングのスラローム競技は大衆動員のひとつだろう。無料体験もまたその一助を担っている。だが足りないものがある。我々は空を飛ばない人達と一緒に楽しむ方法が必要だという事に気付かなければならない。

野球、サッカー、ゴルフ等一部始終が判るゲームには観戦する側も楽しく参加できる。MPG/MHGはその可能性を充分に持っている。MPG/MHGの特性を活かし多くのファンができる大衆型スポーツとして働きかけて行きます。

制度委員会 委員長 小林 秀彰

選挙制度改革について

2001年12月末に、正会員を対象に「JHFの役員及び役員選挙」についての意識調査のご協力をお願いいたしました。本年1月末に回収、分析し制度委員会、選挙管理委員会が協力し改定案を作成いたします。現在の予定では6月の総会でこの案を審議していただくことになります。

安全性委員会 委員長 城 涼一

2月3日には、それぞれ静岡県と青森県で安全セミナーが開催されます。今回は、協力いただく県連盟の要望をも加味して行きますので、これまで以上に当委員会(連盟)と県連盟の良好な関係構築に寄与するのではないかと期待しています。

ところで、安全性委員会運営規程には、「専門委員」という制度があります。その趣旨は、委員会の専門性を高め、活動をより迅速・機動的なものとするにある、と理解されます。数人の専門委員の中で、特に活躍されているのは菊池守男氏です。HG競技委員会と競技会の安全確保についての現状把握と改善策の検討を行ったり、事故機体のライン形状等の検査と報告書の作成等地味ながらとても大切な活動に積極的に協力していただいています。

また、協力という点で、最近私共委員一同が心強く思っているのは、専門委員以外に当委員会への協力を惜しまない方々が増えつつあることです。語学、特に翻訳を得意とする方には是非当委員会にご協力をいただきたいと願っています。ご連絡をお待ちします。

委員・広報出版局員 立候補締切り間近！

これまでお知らせしてきたように、今春、JHF常設委員会の委員と広報出版局の局員の任期が満了します(安全性委員会のみ夏まで)。そこで、ハング・パラグライディングのため、連盟のために力を貸してくださる方を1月31日締切りで募集中でしたが、2月末日まで受け付けを延長することになりました。「こうしたらもっとよくなるのに……」とか「何故これができないのだろう……」とか、JHFにひとこと言いたい方、ぜひ立候補してください。

問い合わせ・立候補届けは、JHF事務局まで、お気軽にどうぞ。新委員の任期は2004年3月31日までです。

尚、選挙管理委員会、2001年新設の特別委員会である法務委員会の委員も合せて募集します。

委員・局員募集

- ・パラグライディング競技委員会
- ・ハンググライディング競技委員会
- ・教習検定委員会
- ・補助動力委員会
- ・制度委員会
- ・安全性委員会
- ・選挙管理委員会
- ・法務委員会
- ・広報出版局
- ・JHF事務局
- TEL: 03-5840-8311
- FAX: 03-5840-8312
- E-mail: jhf@skysports.or.jp

ドイツに学ぶ。

安全性基準といえばDHVの三文字が頭に浮かぶほど、安全について確固たる姿勢を見せるドイツハンググライダー連盟。その教育システムや運営方法から学ぶため、昨年の夏、11名の教員がDHVを視察した。

視察団一行は、ドイツにおける教育の実態とその方法を学ぶため、パフォーマンスライセンス取得課程を受講した。今回はその課目の中から日本の標準的な考え方と大きく異なる「離陸と着陸」について紹介しよう。

下の写真に示すように、離陸直後のパイロットの姿勢は、日本ではほとんど見られないものであった。

完全な離陸のために

ドイツにおいてハングやパラで飛行するドイツ国内において、重大事故の30パーセントは離陸時に発生しているという。「完全な離陸操作技術」を徹底的に教育し、実践することは、事故防止対策として重要なことであるとし、パフォーマンスライセンス課程の最重要科目として扱われていた。

離陸操作について日本の実状と異なると思われる部分を列挙してみよう。

- 1 通常のライズアップ方法(正対)による場合は、ライズアップ最終段階のキャンピーチェックを完全に行うこと。ライン状態も含め少なくとも3～4秒間かけて入念に行わなければならない。
- 2 離陸後、理想的には対地高度が15mに達するまで、少なくとも5mに達するまでは写真に示すような姿勢を維持し、不測の接地などのトラブルに対処しなくてはならない。
- 3 ハーネスにお尻を入れてしっかりと着座するために、ライザーを掴んだり、体を大きく揺すったりしてはならない。もし、このような動作をしなければならぬのなら、それはハーネス調整に問題があると考えなければならない。

私たちはJHF教員としての自負と自信を持って受講したのだけれど、ライズアップ動作から次々と指摘と指導を受けることとなったのである。

私たちの行うキャンピーチェックは、形だけのものとなっていた。顔はキャンピー



DHV提供

方向を向けるのだけれど、それはキャンピーの形が変形していないか確認するだけで、ラインの状態を含めて全てをチェックしていたわけではなかった。それをやろうとすると、なるほど指摘のとおり、素早くできたとしても3秒以上の時間を必要とする。ライズアップ動作は離陸操作ではなく、離陸準備の最終段階と考えるべきというのだ。ライズアップし、翼に異常が無いことを確認するとともに、この3～4秒間の間に体でハーネスなどの異常も感じ取れるし、見つめる仲間からのアドバイスを受け入れられる時間的余裕が生まれるというのだ。

離陸後の姿勢は写真に示すように、片側の大腿部でハーネスのヒッププレートをしっかりと押さえて、後傾姿勢にならないようにする。万一のと看、足から先に接地できる体勢となっていないとではない。理想的には15mの対地高度が得られるまで、地形的環境によりそれが困難であっても、最低5mの対地高度が得られるまではこの姿勢を維持しなくてはならない。この姿勢は、飛行機が車輪を降ろしている状態なのだ。そして完全な着座姿勢は車輪を格納した状態であるという。離陸直後、安全な対地高度に達するまで車輪を降ろした状態で、そして安定した飛行状態に入るまでは離陸時の姿勢を維持して、ブレークコントロールによる操縦に専念しろということなのだ。

私は、離陸後、いつものようにライザーに手をかけて、体とお尻を少しばかり揺すって完全な着座姿勢をとろうとした。DHVパフォーマンストレーナーは見逃してはくれなかった。すぐに、ハーネス設定を再調整しろという。レッグベルトとショルダーベルトを少しずつ調整、狭い範囲であるが膝を胸につけるような動作でほぼ完全な着座姿勢をとれる設定位置を見つけた。十分な高度に達し、巡航飛行状態に入ってから、リ

ラックスできる姿勢に座り直せば良いのだ。離陸直後、対地高度が充分でない時に座り直そうとしないで、操縦することを優先しろということなのだ。

安全な着陸進入と着陸のために

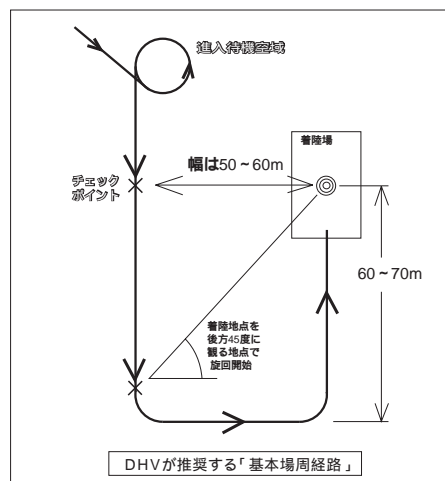
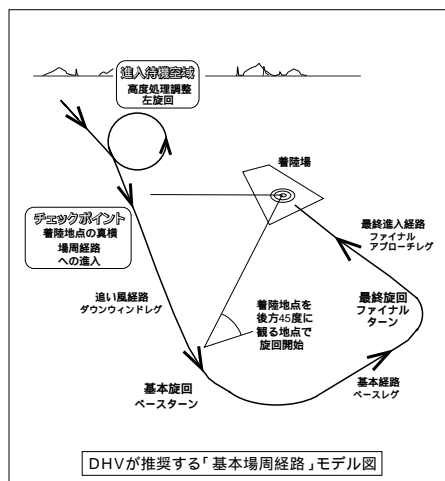
下の2枚の図が、ドイツで行われている進入と着陸パターンである。このような方法があることは、紹介されて知ってはいたが日本国内で実際に行われることはほとんどなかった。ドイツやオーストリー、イギリスなどでは当然のルールとして普通に行われているのだそうだ。エリアルールで特別な進入方法が明示されていなければ、この図のような方法にしたがって進入しなければならないとのこと。ハングとパラが同じ着陸地点を使う場合も同じである。今回訪問したあるエリアの着陸地点に、進入方法を示す掲示板があった。南風の場合はルール通りの通常方法で、北風の場合は近隣の民家等の障害物を避けるため、特別に右旋回による場周経路によって進入するように求めているものであった。

すでに、この進入方法を採用しているエリアが国内にも出てきた。このような進入方法が日本の全てのエリアで完全に適用できるとは思えないが、基本的な進入方法をしっかりと理解したうえで、そのエリアの地形環境に合わせて経路を変更して対応できるようにするべきであろう。ちなみに、イギリスにおいては、場周経路の幅を70～100mと設定している。

最終旋回が終わったら直ちに車輪を降ろした姿勢、つまり離陸直後の姿勢とするなど、図だけでは説明できないことも多いが、次号で進入飛行要領を解説する予定です。

また、教習検定委員会では日本の環境で適用できる場周経路の基本を定め、国内に広く普及するよう活動を行う予定です。

(次号に続く)



JHF登録スクール一覧

細長い日本、南の方ではとくに春の花が咲き始めました。
 まだ雪に埋もれているフライトエリアにも、もうじき暖かな風が吹くでしょう。
 「しばらく飛んでいないから再練習したい」人も、
 「友人にも飛ぶ楽しさを知ってもらいたい」という人も、
 ぜひJHFの登録スクールをご利用ください。
 尚、JHFのホームページから各スクールのホームページを見に行くことができます。
 こちらもお気軽にご利用を！ <http://jhf.skysports.or.jp/>

登録番号	スクール名	住所	TEL	FAX	URL	HG PG MHG MPG
1	アークパラグライダースクール	(〒669-5365) 兵庫県城崎郡日高町十戸313	0796-44-0088	0796-44-0171	http://www3.ocn.ne.jp/~arcpara/	
2	スカイパーク宇都宮パラグライダースクール	(〒321-0341) 栃木県宇都宮市古賀志町1800	028-652-6503	028-652-6503	http://www.alles.or.jp/~skypark/	
3	SET尾神岳	(〒949-3552) 新潟県中頸城郡吉川町尾神	0255-47-2066	0255-47-2066	http://www.valley.ne.jp/~n-tanaka/	
4	いわきパラグライダースクール	(〒972-8326) 福島県いわき市常磐藤原町湯の岳24-1	0246-44-3337	0246-44-3337		
5	KPS富士見高原パラグライダースクール	(〒399-0211) 長野県諏訪郡富士見町富士見3150-1 浅野ハイツ201	0266-62-4909	0266-62-4909	http://www.kids-sports.co.jp	
6	クロスフィールドパラグライダースクール	(〒669-5371) 兵庫県城崎郡日高町太田158-70	0796-45-1390	0796-45-1396	http://www.inaker.or.jp/~cf/	
7	さのう高原パラグライダースクール	(〒679-3453) 兵庫県朝来郡朝来町さのう高原	0796-77-0063	0796-77-1110	http://village.infoweb.ne.jp/~sanoupgs/	
8	パーズアイビューハンングライダースクール	(〒511-0862) 三重県桑名市播磨3094	0594-24-2907	0594-24-2907	http://www.sun-inet.or.jp/~tales/Hang/index/index.htm	
9	KPS那須高原パラグライダースクール	(〒325-0026) 栃木県黒磯市上厚崎450-47 スカイラク II 101	0287-62-4232	0287-62-4232	http://www.kids-sports.co.jp	
10	スカイライトPGスクール	休校中				
11	蔵王坊パラグライダースクール	(〒999-3113) 山形県上山市蔵王坊高原 石井ペンション内	023-679-2772	023-679-2772	http://www3.macbase.or.jp/~pishii/	
12	オニコウベパラグライダースクール	(〒989-6941) 宮城県玉造郡鳴子町鬼首字小向原9-27	0229-86-2434	0229-86-2356	http://www.iiinet.or.jp/HDS/sanmo/	
13	NCおおさパラグライダースクール	(〒719-3503) 岡山県阿哲郡大佐町小阪部2240-1	0867-98-3400	0867-98-3120	http://ww1.tiki.ne.jp/~set/	
14	トップフィールドパラグライダースクールぐんま	(〒378-0126) 群馬県利根郡白沢村上古語父9-1	0278-20-9006	0278-20-9006	http://www8.wind.ne.jp/~topfield	
15	忍野スカイスポーツ倶楽部	(〒401-0512) 山梨県南都留郡忍野村内野2661	0555-84-7561	0555-84-7561	http://www.interq.or.jp/~saturn/victory/	
16	白馬ポップPGスクール	(〒399-9301) 長野県北安曇郡白馬村3020-30	0261-72-5061	0261-72-5947		
17	エコーバレーグリーングラスPGスクール	(〒386-0601) 長野県小県郡長門町姫木平	0268-69-2002	0268-69-2005	http://www.andermtt.co.jp	
18	スカイスポーツスツパラグライダースクール	(〒004-0011) 北海道札幌市厚別区もみじ台東 1丁目2-E-104	011-898-1415	011-898-1415	http://www.netfarm.ne.jp/~moriya/	
19	グランボレパラグライダースクール	(〒379-1305) 群馬県利根郡月夜野町後閑1739-1	0278-62-1274	0278-62-1275	http://www.grand-volee.co.jp/	
20	東海ハンングライダースクール	(〒503-2429) 岐阜県岐阜市東町1661-1 ハンングライダープロショップズ-ム内	0585-45-9214	0585-45-9214	http://www.ogaki-tv.ne.jp/~zoom/	
21	今井浜高原フライングスクール	(〒413-0503) 静岡県賀茂郡河津町見高2297-15	0558-34-0708	0558-34-0708	http://www2.odn.ne.jp/~imaihama/fs/	
22	エアーパークCOO	(〒315-0157) 茨城県新治郡八郷町上曾1698-1	0299-44-1408	0299-44-1408	http://homepage1.nifty.com/airparkcoo/	
23	つくばパラグライダースクール	(〒300-4213) 茨城県つくば市平沢1041	0298-67-4031	0298-67-4031		
24	木島平パラグライダースクール	(〒389-2303) 長野県下高井郡木島平村 木島平スキー場内	0269-82-4100	0269-82-4100		
25	ソアリングシステムパラグライダースクール	(〒999-2221) 山形県南陽市柗塚1502-3	0238-40-2149	0238-40-2149		
26	王子が岳パラグライダースクール	(〒700-0941) 岡山県岡山市青江5-17-11-404	086-226-1269	086-226-1269	http://www.oujigatake.com/	
27	ウインドスポーツHGスクール	(〒315-0101) 茨城県新治郡八郷町大増280	0299-44-3725	0299-43-2071	http://www02.so-net.ne.jp/~windhgs/index.htm	
28	阪神スカイスポーツパラグライダースクール	(〒629-2423) 京都府与謝郡加悦町与謝赤石222	0772-42-3156	0772-72-0954	http://www2.nkansai.ne.jp/~shop/hanshng/	
29	スカイエンジェル	(〒299-1135) 千葉県君津市杉谷23-7	0439-55-1123	0439-55-1123	http://www1.plala.or.jp/~Skyangel/	
30	大ヶ山パラグライダー教室	(〒706-0313) 岡山県玉野市西田井地2074番地	0863-41-2293	0863-41-2293		
31	TAKパラグライダースクール	(〒669-3831) 兵庫県氷上郡青垣町市原771-1	0795-87-0501	0795-87-0579	http://www.tak.ne.jp	
32	ゼロパラグライダースクール	(〒563-0043) 大阪府池田市神田4-14-2	0727-53-8890	0727-53-8830	http://www.zero-para.co.jp	
33	讃岐パラグライダースクール	(〒761-8041) 香川県高松市檀紙町1619-1	087-886-7397	087-886-7397		
34	パーズパラグライダースクール	(〒606-8257) 京都府京都市左京区北白川西伊織町	075-702-0665	075-702-0665	http://web.kyoto-net.or.jp/~people/birds/	
35	ロコスカイスーツ	(〒491-0015) 愛知県一宮市大赤見八幡西3番地	0586-73-0854	0586-73-4665	http://www.lokosky.com	
36	軽井沢スカイパーク	(〒377-1615) 群馬県吾妻郡嬋恋村鎌原1053	0279-86-5180	0279-86-5180	http://www.aco.co.jp/~windybell/	
37	ジオスポーツパラグライダースクール	(〒 -) 長野県須坂市峰の原高枝道14番 ジオスポーツ	0268-74-3547	0268-74-3547	http://www.geosports.co.jp	
38	ラブラブ	(〒742-0021) 山口県柳井市宮野1915-24	0820-22-5764	0820-22-5767		
39	JRパラグライダースクール紀ノ川 UPパラグライダースクール	(〒649-6413) 和歌山県那賀郡打田町竹房391	0736-77-7088	0736-77-5492		
40	JMBルーツパラグライダースクール	(〒004-0031) 北海道札幌市厚別区上野幌一条3丁目95 パラグライダー-北海道	011-892-6822	011-893-2465	http://www.mmj.or.jp/~jmb-rusutsu/	
41	ジェネスパラグライダースクール	(〒336-0017) 埼玉県浦和市南浦和3-33-14	048-882-2730	048-882-2517	http://genese.co.jp/	
42	登谷山パラグライダースクール	(〒360-0036) 埼玉県熊谷市桜木町1-8	048-523-0646	048-527-3279		
43	宮崎スカイスポーツ	(〒882-0033) 宮崎県延岡市川原崎町165-3	0982-21-5570		http://ww61.tiki.ne.jp/~m-skysports/	
44	SETウインドラブ吉松パラグライダースクール	(〒899-6102) 鹿児島県姶良郡吉松町中津川418-1	0995-75-2755	0995-75-2757	http://www1.ocn.ne.jp/~windlove/	
45	有限会社 スカイトライ	(〒444-0004) 愛知県岡崎市保母町三反田19番地1	0564-47-3239	0564-47-3249		
46	津軽岩木フライングスクール	(〒036-8227) 青森県弘前市栲楼野5丁目6-12	090-2028-1306	0172-37-6768	http://www.rnac.ne.jp/~birdman/	

登録番号	スクール名	住所	TEL	FAX	URL	HG	PG	MHG	MPG
47	FIELD-KIDS付知パラグライダースクール	(〒470-2105) 愛知県知多郡東浦町藤江字山敷101-1	0562-83-3659	0562-83-8843	http://www.09u-page.so-net.ne.jp/cj8/f-kids/				
48	タートルズパラグライダースクール	(〒733-0815) 広島県広島市西区己斐上5-431 ビューハイツ己斐上105号	082-274-4112	082-274-4112					
49	ホワイトテラスパラグライダースクール	(〒989-0916) 宮城県刈田郡蔵王町達刈田温泉字上ノ原168-84	0224-34-3783	0224-34-2586	http://homepage1.nifty.com/para-school/				
50	JMB白馬パラグライダースクール	(〒399-9301) 長野県北安曇郡白馬村北城14718-167	0261-72-7470	0261-72-7470	http://www.janis.or.jp/users/kfunada/school/				
52	中日パラグライダースクール	(〒462-0823) 愛知県名古屋北区東大曾根町上3-1020-2-204	052-911-0537	052-981-4321	http://www.chunichi.net/				
53	スカイトレックパラグライダースクール	(〒769-0103) 香川県綾歌郡国分寺町福家216-7	087-874-2902	087-874-2902	http://www.skytrek.org				
54	三ノ倉パラグライダースクール	(〒966-0103) 福島県耶麻郡熱塩加納村加納五目山16-2	0241-36-3363	0241-36-3363					
55	小谷パラグライダースクール	(〒399-9422) 長野県北安曇郡小谷村白馬乗鞍4169	0261-82-2566	0261-82-2779	http://www.valley.ne.jp/seisadao/otaripgs/				
56	SPLパラグライダースクール	(〒521-0312) 滋賀県坂田郡伊吹町上野1855 伊吹高原荘内	0749-58-2020	0749-58-2019	http://www.biwane.jp/splpara/splph/spl.html				
57	となみ野パラグライダースクール	(〒939-1824) 富山県東礪波郡城端町大鋸屋125	0763-62-4133	0763-62-4133					
58	彩の国こまちパラグライダースクール	(〒355-0366) 埼玉県比企郡都幾川村大野勝貞平	0493-67-1788	0493-67-1787	http://www.intio.or.jp/komachi/				
59	新治こまちパラグライダースクール	(〒300-4108) 茨城県新治郡新治村小野126-7	0298-62-5355	0298-62-5358	http://www.intio.or.jp/komachi/				
60	ワイツパラグライダークラブ	(〒378-0414) 群馬県利根郡片品村丸沼高原 Pワルツ内	0278-58-3990	0278-58-3834	http://www.wind.ne.jp/waltz/				
61	ブルースカイ	(〒901-2401) 沖縄県中頭郡中城村久場1943番地	098-942-3600	098-942-3601					
62	Opa HG スクール	(〒315-0101) 茨城県新治郡八郷町大増1900	0299-44-3642	0299-44-3939	http://www.opa.co.jp/				
63	Opa PG スクール	(〒315-0101) 茨城県新治郡八郷町大増1900	0299-44-3642	0299-44-3939	http://www.opa.co.jp/				
64	ロールアウトパラグライダースクール	(〒669-3811) 兵庫県氷上郡青垣町佐治23-1	0795-87-1825	078-947-1743	http://www5.big.or.jp/rollout/				
65	会津高原パラグライダースクール	(〒967-0322) 福島県南会津郡館岩村精舎114-2	0241-78-5066	0241-78-5010					
66	泉ヶ岳PGスクール	(〒981-8002) 宮城県仙台市泉区南光台南三丁目18-22	022-251-8313	022-251-8313					
67	スカイトリアル	(〒325-0001) 栃木県那須郡那須町高久甲943-19	0287-64-4779	0287-64-4779	http://www2.neweb.ne.jp/wd/skytrial/				
68	上越パラグライダースクール	(〒949-6366) 新潟県南魚沼郡塩沢町若沢1673-26	0257-83-3802	0257-83-3885	http://www.b-and-w.co.jp				
69	JMB富士見バノマパラグライダースクール	(〒399-0211) 長野県諏訪郡富士見町富士見6666-717	0266-62-7691	0266-62-7691	http://www.windhop.com				
70	つばさ倉敷パラグライダースクール	(〒712-8061) 岡山県倉敷市神田4-1-10	086-444-2324	086-444-2324	http://www.d1.dion.ne.jp/topwing/				
71	黒姫高原AFCパラグライダースクール	(〒949-2218) 新潟県中頸城郡妙高村花房80	0255-82-3532	0255-82-3532					
72	UP JAPANパラグライダースクール	(〒669-5371) 兵庫県城崎郡日高町太田159-10	0796-45-0598	0796-44-1185	http://www.inaker.or.jp/upjapan/				
73	トントンとんび	(〒999-3233) 山形県上山市三本松126-19	023-672-6206	023-672-6219					
74	(有)ジャムスポーツパラグライダースクール	(〒911-0000) 福井県勝山市170-70 スキージャム勝山 レンタルプラザ2階	0779-87-6311	0779-87-6311	http://jamsports.tripod.co.jp				
75	Y.S.C 箱根パラグライダースクール	(〒250-0521) 神奈川県足柄下郡箱根町箱根381	0460-3-6958	0460-3-5391	http://plaza9.mbn.or.jp/familyk/ysc/				
76	七時雨パラグライダースクール	(〒028-7515) 岩手県二戸郡安代町古屋敷96	0195-72-2103	0195-72-2103					
77	ESD PGスクール	(〒791-8043) 愛媛県松山市東垣生町810 ウインドバルESD	089-971-3190	089-971-3731	http://www.rene.com/para				
78	桐池パラグライダースクール	(〒399-9422) 長野県北安曇郡小谷村桐池高原	0261-83-2521	0261-82-3082	http://www.janis.or.jp/users/tugapara/				
79	榛名町パラグライダースクール	(〒370-3347) 群馬県群馬郡榛名町中室田4213	090-1739-8257	0422-53-6350	http://www.geocities.co.jp/Athlete-Athene/8999/				
80	Fream	(〒389-2418) 長野県飯山市寿857 サンロッジ泉荘内	090-1552-2482	03-3429-1506	http://homepage1.nifty.com/Fream_HG/				
81	S.E.T. 三陸PGスクール	(〒022-0101) 岩手県気仙郡三陸町越喜楽小出59-1	0192-44-3712	0192-44-1272					
82	ハイウェイPGスクール	(〒616-8122) 京都府京都市右京区太秦井戸ケ尻町27-4	075-882-3761	075-871-9503					
83	S.E.T. 富山 牛岳パラグライダースクール	(〒930-0174) 富山県富山市野町24-6	076-436-5947	076-436-5947	http://iam/usidake/				
84	山中湖コアパラグライダースクール	(〒401-0502) 山梨県南都留郡山中湖村平野2660	0555-62-6565	0555-24-2472	http://www.core-sports.co.jp/				
85	SPLパラグライダースクール	(〒521-0312) 滋賀県坂田郡伊吹町上野1855 伊吹高原荘内	0749-58-2020	0749-58-2019	http://www.biwane.jp/splpara/splph/spl.html				
86	X10 エクステンパラグライダースクール	(〒990-0062) 山形県山形市鈴川町1-2-20	023-694-2622	023-631-7978	http://member.nifty.ne.jp/x10/				
87	ODSSパラグライダースクール	(〒500-8141) 岐阜県岐阜市月丘町5-13	058-248-4711	058-248-4722	http://www.odss.co.jp/				
88	ハチ高原ウエスト・ジャパン・PGS	(〒667-1100) 兵庫県養父郡開宮町大久保1593-2	0796-67-7263	0796-67-7833	http://homepage1.nifty.com/west-japan-pgs/				
89	コットンクラブ	(〒739-1301) 広島県広島市安佐北区白木町井原816	082-828-7788	082-828-7789	http://www3.kyosai.or.jp/cotton/				
90	イクス	(〒419-0104) 静岡県田方郡函南町畑374-63	0559-74-3439	0559-74-3458	http://www.asahi-net.or.jp/YB7H-SMN/startnn.html				
91	ノース・ドリーム ワインの国パラグライダースクール	(〒083-0047) 北海道中川郡池田町昭栄49-6	01557-2-5929	01557-2-4009	http://www.netbeet.ne.jp/north				
92	大台パラグライダースクール	(〒019-1701) 秋田県仙北郡神岡町神宮寺	0187-72-3509	0187-72-3509					
93	京都ハンブパラグライディングスクール	(〒607-8116) 京都府京都市山科区山科鎮守町21 京都エアスポーツ内	075-593-7979	075-593-7979					
94	JMB関西パラグライダースクール	(〒669-4322) 兵庫県氷上郡市島町125-1	0795-85-1077	0795-85-1305	http://www.remus.dti.ne.jp/kanpara/				
95	伊吹山パラグライダースクール	(〒521-0321) 滋賀県坂田郡伊吹町上野1488-2	0749-58-1382	0749-58-1382	http://www.bluesky3.net/				
96	ELSパラグライダースクール	(〒399-9301) 長野県北安曇郡白馬村北城11552	0261-72-6022	0261-72-6022					
97	エアロクルーズ	(〒500-8463) 岐阜県岐阜市加納新本町4-17	058-276-4452	058-276-4452	http://www1.sphere.ne.jp/aerocruise/				
98	ジェネスパラグライダースクール神立校	(〒949-6102) 新潟県南魚沼郡湯沢町神立4121-1 神立高原スキー場	0257-84-3039	0257-84-3039	http://www.genese.co.jp/kandatsu/				
99	TNCパラグライディングクラブ	(〒080-0263) 北海道河東郡音更町十勝川温泉南12-1-12	0155-32-6116	0155-32-6117	http://www.nature-tokachi.co.jp				
100	DKスカイジム朝霧	(〒418-0101) 静岡県富士市宮根原字宝山282-1	0544-52-1031	0544-52-1033	http://www.dkskyworld.com				
101	クラウドベース	(〒742-0301) 山口県玖珂郡周東町祖生6318-3	0827-84-5333	0827-85-0568	http://www.cloudbasenet.com				

理 事 会 ダ イ ジ ェ ス ト

12月19日理事会

2001年12月19日(水)13時～18時 場所:JHF事務局会議室 出席:朝日和博、伊賀隆一郎、関谷暢人、瀬戸口裕郎、田中美由喜、長谷川光雄、藤野光一、松永文也、宮川一郎、宮田富由、横尾和彦各理事、欠席:宮川雅博監事(出席理事11名。定足数に達し12月理事会成立。)議長:伊賀隆一郎
審議1:緊急提案について

事務局人材補強が提案された。業界にかかわらず、専門的知識を有した人を想定し、会長、副会長、常任理事、事務局長が選定するものとし、専門的知識をもつ人材をテストケースとして年度内採用することについて採決した。賛成9、反対0、棄権1で可決。

審議2:2002年度事業方針について

2002年度事業方針(案)が提案され、それについて意見を求めた。案を修正・加筆したうえで採決。賛成9、反対1、棄権0でこの文章を基本方針として承認した。

審議3:常設委員の委嘱停止について

審議に先立ち、聴聞会を開催することについての文書理事会の結果【賛成8、反対3、棄権0】が報告された。常任理事会ではこの結果を踏まえて、(1)前回の理事会で担当理事より対応策を出してもらうことが決まっているので、それを本日出してもらう。(2)聴聞会の開催についてはその後審議してもらう事とした。担当理事より議案案が出されたが反対意見があり、当人によるべく早い機会に理事会に出席してもらうこととし、この議案は継続審議となった。

審議4:広報出版局の職制の変更について

担当理事より概略が説明された。広報出版業務担当職員を4月より採用し、迅速な広報活動、広報メディアに対する積極的な情報提供活動等、現状でマンパワー上不可能の事業を可能にする。また職制を変更し事務局広報出版部という名称にする。採決の結果、賛成10、反対0、棄権0で可決された。

審議5:2002年HGルールブック内容の変更について

担当理事よりルールブック変更の承認を求めた。それに対し、各理事より修正案が出された。また、底辺の拡大、参加者増加の対策としての要望が出され、担当理事より来期の宿題とし前向きに検討するとの回答があった。ルールブックの基本的な内容変更は承認し、文章表現は意味が変わらぬよう修正することについて採決。賛成10、反対0、棄権0で可決。

審議6:2002年FAI一般賞受賞候補者推薦の件について

10月に(財)日本航空協会よりFAI一般賞の推薦の依頼があり、11月の文書理事会で推薦者を審議したが、【賛成5、反対3、棄権3】で否決された。常任理事会で検討した結果、改めて広島県ハンググライディング連盟理事長の高見正治氏をポール・ティサンディエ賞に推薦することとした。賛成6、反対1、棄権3で、高見氏を推薦することに決定。本人に了解を得て(財)日本航空協会に推薦文を提出することになった。

これより2名退席により議決数が8となる。

審議7:補助動力技能証課程の見直しと改定継続審議とする。

審議8:文書理事会「JHF議事録作成方針について」11月の文書理事会で、「議事録作成方針は従来通り簡素なものとする」ことを【賛成8、反対3、棄権0】で可決しているが、改めて採決し、賛成6、反対2、棄権0で承認された。

1月15日理事会

2002年1月15日(火)13時～18時 場所:JHF事務局会議室 出席:朝日和博、伊賀隆一郎、関谷暢人、瀬戸口裕郎、田中美由喜、長谷川光雄、松永文也、宮川一郎、横尾和彦各理事、欠席:藤野光一、宮田富由各理事、宮川雅博監事(出席理事9名。定足数に達し、1月理事会成立。)議長:長谷川光雄 議事の進行を次のように変更。審議1 審議2 審議6 審議3 審議5 審議7 審議4 審議8
審議1:2002年3月の総会日程について

関谷常任理事より今年度の総会の日程及び場所が次の通り提示された。日程:3月20日(水)13時～17時 場所:主婦会館プラザエフ、7Fカトリア 合わせて、総会前の情報交換会(10時～12時)及び、総会後の懇親会の開催の可否も審議。賛成8、反対0、棄権0で、3月総会の日程及び場所、総会後の懇親会、情報交換会を上記の予定で行うことを可決。

審議2:2002年度予算(案)について

担当理事より概略の説明がなされ、以下のようにさまざまな意見が出された。

- 1 広報媒体の要であるJHFレポートの誌面充実を図る為、前回理事会で決議された広報出版専門の職員の人件費を、都道府県連盟事業費から150万円程度拠出する。
- 2 新規事業の緊急安全対策費100万円、JHF改革特別委員会費100万円をカット、JHF活性化対策費の中に盛り込む。
- 3 顧問経費50万円カット。

4 委員会関連の予算は実態に応じて、修正する。

5 法務委員会経費も同様に圧縮する。

全体的に、圧縮できる所は圧縮して、将来のスポーツ人口の減少を見越して、その為の備えとしての予算を立てることとする。大筋は上記の通りで、この案を正会員向けの予算原案として提示することについて採決を求めた結果、賛成6、反対0、棄権2で可決した。

審議6:スカイ・レジャー・ジャパン実行委員会役員推薦の件 担当理事より説明がなされた。今年度は宮崎県都市で開催。(財)日本航空協会より役員・連航委員の候補者の推薦を依頼され、担当理事より候補者が挙げられた。賛成8、反対0、棄権0で、発起実行委員会:朝日会長、長谷川常任理事連航委員:渡辺喜久男氏(宮崎県ハング・パラグライディング連盟理事長) 武永哲雄氏(宮崎県在住フライヤー)に決定。
審議3:常設委員の委嘱停止について
本日の理事会において、当該委員の意見を聞く予定だったが、本人の日程調整がつかず、よって継続審議とする。

これより1名退席により、議決数が7となる。

審議5:安全性委員会事故調査報告書(一次)の件
事故報告書の内容について、理事より意見が出され、全体的に偏った内容の報告書と見受けられ、理事会は報告書として認められない。よって、

- 1 偏った内容を明らかにする為に、専門委員会にこの報告書を送付して意見をもらい、同時に理事による意見も添え、訂正箇所を安全性委員会に理事会から指示する。
- 2 主催者に事情を聞いた上で報告書を出すように、理事会から指示する。ことに決を求め、採決の結果、賛成7、反対0、棄権0で可決。

審議7:優良スカイレジャーエリア認定事業について
JHF事業として、ハングパラ優良スカイレジャーエリア認定事業を(財)日本航空協会から引き継ぐことに決を求め、採決の結果、賛成5、反対2、棄権0で可決した。

審議4:補助動力技能証課程見直しと改定

昨年行われたアンケートの結果及び、会員及び教員の賛成多数の結果を受け、補助動力技能証課程見直しと改定について決を求め、採決の結果、賛成6、反対0、棄権1で、補助動力技能証課程の見直しと改定をすることに可決した。

審議8:定款変更の総会提案について

定款変更の文部科学省申請の有無について、改めて事実関係を確認し、その上で審議事項として提案するものとする。

理 事 活 動 報 告

JHFの理事は、それぞれが担当する事業が滞りなく進行するよう、さまざまな仕事をしています。
11月下旬から1月下旬までの活動内容を各理事に報告してもらおう。

会長 朝日 和博

3月総会が近づいてきております。あつという間の1年であつたように感じます。現在は2002年度の事業計画と、予算案の審議が終わり、皆様に提案する段階になっています。良いお考えをお持ちの方が多くおられると思いますので、是非ご提案をいただきたいと思ひます。

それから、全てのフライヤーが、楽しく安全に飛行できる環境を整える為、全理事が頑張っております。それぞれ立場が異なるので、当然意見も違ひますが、その違いを乗り越えて、多くのフライヤーが気持ちよくフライトできるよう、共に力をあわせていきたいと思ひております。

理事会は、それぞれ固有の職業をもちながらも、各自の力を集めて運営しております。心より感謝しております。勿論、全てのフライヤーのお力添えをいただいて、この連盟が成り立っております。理事会の力不足のところは多くあると思ひますが、是非とも皆様のお力をお借りして、将来に向けてこの素晴らしいスカイスポーツをつなげていきたいと思ひます。

どうかご協力をお願い申し上げます。

常任理事 横尾 和彦

(財)日本体育協会へ出向く、加盟の相談。長らく相談に乗って頂いた森村参事が定年退職された。お世話になりました。お元気で、「門戸を開く」との事で、加盟基準を見直しているとの事。競技スポーツ一辺倒でなく、障害者スポーツ、生涯スポーツ団体などのジャンル分けを再検討しているとの事。

(財)日本航空協会に出向く、体育協会加盟の相談。連携プレーのため、航空協会も変わった。角田航空スポーツ室長になってから特に変わった。航空スポーツの普及の為に努力したい。JHFにもその財力、組織パワーをもって協力してほしい。総会懇親会にご出席頂いた折、そう述べられておりました。このように理想を掲げて活動したい実務レベルと経営レベルでは組織経営上の苦勞が感じられます。

対する我々JHFは、JHF理事会はどうか、成立後9ヶ月が経過している。11名の理事のチームワークはどうか。是か非か、非ならばその理由は、自戒も含めて、今、考える。我々のスピリットと言える「パイロットの自己責任」とは、いったい如何なるものか。「長」が変わっても、永久に変わらず守らねばならぬもの、何であるのか。過去の理事会からの引き継いで来たもの、は何なのか。

新橋に事務局を置いていた頃、渡邊敏久さんがよく言っていたことを思い出した。「Vol Libre 自由飛行。これは守って行かなければならぬものなのだ。社会からも、自らも。これからは、特に。」

JHFに関わって足掛け7年になる。自分の力が足りないことを痛感し情けなく思ふ。ずっと空に慣れて来た航空少年のひとりとして、オットーリエンタルの末裔として。

理事 伊賀 隆一郎

HGフライヤーは、すでにご存知の方が多いと思ひますが、昨年末HGルールブックの一部改定が認められ、シリーズ競技に、カメラのバックアップとしてGPSが使用できる

ようになり、実績を上げています。まだ使用できない一部の機種についても対応できるよう、業界、競技委員会、競技主催者に努力していただいています。

理事 藤野 光一

制度委員会では、選挙制度改革に伴うアンケートを正会員のみなさんに行いました。このアンケートで得られたみなさんの生の声は、よりよい制度を作るために活用されます。ご協力頂きましたみなさんに御礼申し上げます。

理事 宮川 一郎

宮川一郎は、JHF関連の訴訟を担当する中野弁護士との連絡役に指名されました。微妙な問題が存在するため、輕輕に詳細を報告する事が不可能です。但し、今号発行までに1回、準備手続きという訴訟行為に立ち会いました。ともかく、公明正大に作業を進めて行く覚悟ですし、詳細は毎回の理事会に正確に報告致しております。このような後る向きの作業は決して愉快なものではありませんが、誰かが担当しなくてはなりません。今後、私の活動報告が具体的内容が薄いものとなっていく可能性が高いのですが、この事情を察してご容赦ください。

理事 宮田 富由

安全性委員会の委員と瀬戸口担当理事とともに、丹那エリアの事故調査及び委員会を開催し、安全セミナーについて検討決定をした。

また、法務委員会も現在の訴訟案件については、委員と担当理事とで継続検討中である。

@sky

空の情報いろいろありのページ、その名もアット・スカイ。
いつでも心は空の彼方というあなた、必読！
もちろん寄稿も大歓迎。
「お題はなあに？」や「大会報告」、エリア紹介、フライト自慢、
JHFへの意見など、どしどし送ってください。
koho@jhf.skysports.or.jp FAX.03-5840-8312

2002年度のJHFがめざすのは、まず「事故の撲滅」

2001年度もあと少しで終り。3月20日には、JHF3月定例総会が開かれ、2002年度の事業方針や予算について審議されます。

JHF理事会は、総会に上程する事業方針案や予算案を作るにあたって、現状を次のようにまとめました。

- 1 愛好者数が横ばいで、特に若年層が減少傾向にある。
- 2 事故が多くなってきている。(昨年は特にパラグライダーハーネスのレッグベルト掛け忘れによる事故が目立ちました。)
- 3 大会等の事業における安全管理体制に

ついて、現状のままでよいか再確認する時期となっている。

- 4 JHFに期待されていることは多いが、その対応速度の向上が望まれている。

フライヤーが増えないのは、日本経済の影響はもちろんありますが、「飛びたい」と思っている人への情報が不足していること、「すぐ墜落する」という間違ったイメージがはびこっていることも原因のひとつと考えられます。

事故をなくすことは、フライトエリアの存続にもかかわり、「ハングやパラは非常

に危険なスポーツだ」という一般の考えを払拭するためにも必要です。フライヤーたる者、たとえホヤホヤの初心者でも「自分の安全は自分で守る！」という意識が大切でしょう。

JHFの基本方針は、「日本のハンググライディング界を統括し、代表するスポーツ団体として、安全で楽しいハンググライディングの普及及び振興を図る。もって全ての人の心身の健全な発達に寄与する。」と、定款に定められているとおり。この方針を根にして決められるのが、新年度事業方針です。2002年度は「事故の撲滅」将来像の検討「普及活動の推進」を三つの柱として、どんな事業をどのように行っていかかが総会で決定される予定です。

考え方を変えてみる

寒いのと人ごみと書道が嫌いな僕にとって、冬の空は僕に対してとても攻撃的だ。それでもそんな空に向かって、毎週のようにテイクオフするのは、そこに空があるからだ。スリーシーズン用のフライトスーツの下にフリースを着込み、スノボ用のグローブをして雲の下で寒さに震えるたびに、また一つ自然の脅威に打ちのめされた気分になる。寒いのは仕方が無い。そう気づいた時、僕は冬の空が少し好きになってきた。そう、冬は寒い。それでいいじゃないか。

ペンネーム:それでも夏が好き。

コストゼロ!

寒さ対策、貴方はどんなことをしていますか? 私の場合はこれです。「誰よりも高く遠くへ行くこと」その日がどんなに寒かろうと(いま、誰よりも高く遠くにいる)と思えば私の脳内にはエンドルフィンが駆け巡り、とってもイイ気持ちになれるのです。ベースパーが氷の結晶で覆われてもそれはそれで美しいと感動できるのです。素晴らしいですね。

ペンネーム:飛行ジャンキー

自作ブランド

一度、冬用グローブを自作したことがある。フリースと風を通さない生地の二重構造で、指の動きを妨げず、自分の手にピッタリな優れたものであったが、それは右手だけ。

左手はどうしたかって? 片方作るのに10時間もかかるのであきらめました。

ペンネーム:夜なべして手袋

暖気運転

さあ今日も良い飛びをするぞ!と気合をいれてエリアに来たものの、ディレクターにB級クローズをされたアナタ、そんな時に限って凄く寒かったりするものです。そ

を付けて、風邪などひかないようにしてくださいね。ペンネーム:縄跳びイントラ

南国へGO!

究極の防寒対策とは? まず、お金を用意しましょう。そして、グライダーを背負い飛行機に乗ってどこか好きなところへ行きましょう。ただし、分かっているとは思いますが、暖かいところにしましょう。さらに寒いところに行って「寒さに慣れる」という防寒対策はあまりオススメできませんので。ペンネーム:さむはふゆいね

次回のお題は「ああ、勘違い!」

ハング・パラに関する史上最大の勘違いを募集。あなた自身の体験でも、密かに聞いてしまった他人の恥でもOKです。

このコーナーでは、お題にそった皆さんの体験談をお待ちしています。笑える話、ホロリとくる話、ビックリする話、大歓迎。200字程度の文章にして、EメールまたはFAXでお送りください。ペンネーム、氏名、住所、電話番号、Eメールアドレスも忘れずに書き添えてください。作品採用の方には、ささやかなプレゼントあり! Eメール:koho@jhf.skysports.or.jp FAX.03-5840-8312

「JHFレポートお題はなあにに係」まで。

次回の締切は3月15日。文章の主旨を変えずに編集させていただくことがあります。

お題は なあに?

今回のお題は「寒さに負けない方法」
心頭滅却、風もまた温し……
というわけにはいかないか。

んな時どうやって温まります?

そういう事もあろうかと、私はいつも縄跳びを持っています。これさえあれば後は独りスティックに二重跳びの記録作りに没頭するもよし、友達と技の優劣を競うもよし、飛べる風になる頃には寒さで萎縮していた筋肉もほぐれ、良い飛びができること請け合いです。但し、汗をかいたまま飛ぶと後で急に寒くなるのでそのへんは気

@sky

大会報告

平和カップ2001 in 広島
2001年11月23日～25日
広島市安佐北区 神の倉・荒谷山エリア

[総合]

1位	原 健一	岡山県	1000点
2位	梅迫 賢一	兵庫県	844点
3位	上山 太郎	大阪府	724点
4位	足利 良彦	広島県	698点
4位	高杉 慎吾	広島県	698点
4位	薬師寺 哲	愛知県	698点
7位	土橋 誠	福岡県	543点
8位	松尾 英彦	山口県	432点

[女子]

1位	御手洗美智子	山口県	302点
2位	熊丸 えり子	福岡県	251点
3位	矢崎 あかり	石川県	236点

天候に恵まれ、3日間とも飛ばすことは出来たが、2日目、3日目は風が強くなり、競技が

成立したのは初日の1本だけになった。今回、初めてGPS判定を採用した。GPSの普及率を考えて、写真判定との併用とした。GPSについて選手も大会運営側も知識を深めることができる機会になったと思われる。判定、集計もスムーズに行うことができた。多くの選手に集ってもらい、盛況のうちに大会を終えた。
[記:児島彰]

平和カップ2001 in 広島
2001年11月23日～25日
広島市安佐北区 神の倉・荒谷山エリア

[総合]

1位	藤田 直巳	東京都	200.4点
2位	小林 泰寛	福岡県	63.9点
3位	土屋 修二	山口県	60.2点
4位	内田 孝也	東京都	59.1点
5位	寺田 公	山口県	56.3点
5位	橋本 正憲	福岡県	56.3点
7位	毛利 謙作	高知県	50.6点

8位	池田 桂一	佐賀県	48.2点
8位	福田 一郎	神奈川県	48.2点

[女子]

1位	松浦 綾乃	山口県	45.0点
2位	榊原 彩子	千葉県	40.8点
2位	長谷川知子	千葉県	40.8点

HG・PG併催の平和カップは、回を重ねるごとに参加者が増え、今年はHG70名、PG80名、PGオープンクラス33名にまでなった。大勢のフライヤーが集まり大賑わいの大会となった。しかし、残念なことに、条件はそれほどよくなり、渋い大会となってしまった。今大会では、クラス Σ (0.95)、角なし(1.00)、角あり(1.05)、シングル(1.1)と、得点に機体係数をかけたため、2日目以降は角なしが最後尾に並ぶという状況もあった。
[記:太田祐輔]

第16回西富士ジャパンクラシック
2001年12月31日～2002年1月3日

タメにならない航空史-6

魔術師とパテン師の時代

矢ヶ崎弘志



J. デーゲンの羽ばたき装置。
実は気球にぶら下がっていた。

時代に先んじたアイデアを実現させようとすると、とかく世の誤解を招きやすい。17世紀から19世紀の中ごろにかけて、飛行器械の発明に熱中していた人々などは、その典型だろう。魔術使いと呼ばれるのはまだましな方で、詐欺師だのパテン師だのと罵られることが多かった。

動機は純粋だったにもかかわらず、結果的に詐欺師の仲間に入れてしまったのが、イギリスのウィリアム・ヘンソンである。彼は1838年に「空飛ぶ蒸気車」すなわち蒸気エンジン付きの飛行機の開発を思い立った。ヘンソンの構想は雄大で、旅客の輸送を目論み本職の画家に「空飛ぶ蒸気車」がインドのタージマハール廟などの上空を飛行している絵を描かせ、出資者を募ったのである。航空機メーカー、航空会社、旅行会社を

同時に経営しようとしたわけで、まさに時代を先取りしていたといえるだろう。

しかし、この計画は80年ばかり早かった。肝心の機体は出来上がらず、出資者の信用を失ったヘンソンは、心ならずもパテン師にされてしまい、航空会社も設立されずに終わった。調子の良すぎる前宣伝が逆効果だったのかもしれない。ただし、残された観光ポスター仕立ての絵には人気があり、客間に飾られることが多かったというから、結局には救いがある。

「空飛ぶ蒸気車」の計画を技術的な面から批判していたのが、航空の父といわれるジョージ・ケイレイ卿だった。ケイレイ卿は飛行の基礎的な分野の研究で業績を残して

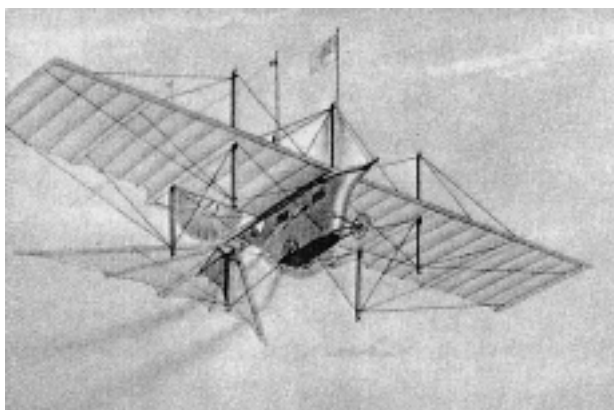
いるが、彼もまたスイスの時計職人ヤコブ・デーゲンのパテンに引っかかっている。正確にいうと、騙されたのではなくケイレイ卿が勝手に思い込んだだけなのだが、とにかくデーゲンは羽ばたき飛行に成功したと晩年になるまで信じていたようだ。

デーゲンは、唐傘を二つ横に並べたような形の手動羽ばたき装置を作

り、その上に気球を取り付けて空中を浮遊して見せた。羽ばたき装置はお飾りで、単なる見世物だったのだが、ケイレイ卿のもとに届いた絵は気球の部分が消されていたのである。デーゲンが空を飛んだという確かな目撃談と、もっともらしく加工された絵だけで、ケイレイ卿は簡単に騙されてしまったのだ。

とはいうものの、実害があったわけじゃないし、デーゲンとて人をパテンにかけるつもりなどなかったのだから、非難される筋合いはなかり。つまるところ、あいまいな情報が招いた誤解というに尽きる。余談になるが、デーゲンという男、多額の借金を抱えており、返済のために空中浮遊の見世物を考えつき、この芸当で借金は全額返せたそうだが、さらに金を稼ごうとパリに出て興行したがうまくいかず、見物人からひどい仕打ちを受けてスイスに逃げ帰ったという。

目出度いようで哀れな話であるが、一介の時計職人デーゲンは、この一件だけで航空史に名を残した。ハンググライダーを作って飛んだばかりに、人心を惑わす妖術使いとして郷里の岡山から永久追放された、日本の表具師幸吉に比べれば、まだしも幸運だったのかもしれない。なにしろ、何の成果も上げていないのに、デーゲンの器械はエッチングに残されているのである。



W. ヘンソンの「空飛ぶ蒸気車」

静岡県富士市猪之頭

[総合]

1位	鈴木 博司	三重県	960点
2位	外村 仁克	兵庫県	876点
3位	砂間 隆司	茨城県	869点
4位	崎山 和弘	広島県	868点
5位	肥田 修	石川県	862点
6位	峰岸 正弘	茨城県	844点
7位	岡田 伸弘	静岡県	718点
8位	川浪 崇	石川県	647点

[女子]

1位	岡田 明子	静岡県	614点
2位	谷古宇瑞子	栃木県	37点
2位	井出 有生	兵庫県	37点

初日54.4kmのタスクでミニマムを越さない人が23名いたが、ゴールは7名となり、成立した。しかし、2日目から4日目にかけては前線通過の予想および強い冬型の気圧配置による西の強風で、いずれの日もウインドダミーはフライト出来るものの、競技時間全般にわたる安全の確保を考慮した結果、競技キャンセルとなり、成立本数は1本のみとなった。なお、この大会からセーフティコミティによる安全性の協議およびGPSによるセクターの確認が実施された。

[記:岡田伸弘]



第13回丹沢スカイグランプリ

2002年1月11日～14日
神奈川県秦野市横野地区

[総合]

1位	今嶋 功	鳥取県	1770.6点
2位	大沼 浩	茨城県	1692.1点
3位	鈴木 博司	三重県	1668.2点
4位	外村 仁克	兵庫県	1620.0点
5位	峰岸 正弘	茨城県	1605.2点
6位	大門 浩二	茨城県	1434.0点
7位	波多野康雄	兵庫県	1400.0点
8位	山本 貢	茨城県	1284.0点

[女子]

1位	岡田 明子	静岡県	1116.3点
2位	磯部さやか	千葉県	934.3点
3位	谷古宇瑞子	栃木県	433.3点

大会中を通じて冬型の気圧配置が崩れてしまい、丹沢としては渋いコンディションの大会となった。初日は西風が強くキャンセル。2日目は35.7kmのタスクを設定し、鬼門のチェックメイトCCを10人がクリア、うち3人がゴールを果たす。3日目は日射が弱く、小さなタスクを設定するが、8選手が太平洋GCを取ってMLへ降りるのが精一杯だった。最終日、30.8kmのタスクを設定するが、前日同様に太平洋GCをとりに行った選手は、初日ゴールした選手も含めてそのまま降りてしまう。そんな中、今嶋、峰岸の2選手のみがゴールし、今嶋選手が逆転優勝を果たした。また、本大会はHGシリーズで初めてGPSバックアップを本格使用し、GPSの有効性を確認することが出来た。

[記:山本剛]



優勝の今嶋選手を中心に、入賞者たち。

投稿大歓迎

JHFレポートは、あなたの投稿をお待ちしています。大会の報告や予告、クロスカントリーレポート、安全飛行のための提言、エリアの耳寄り情報など、どんどんお送りください。できれば写真も付けて。写真はポジでもプリントでもOK。データも可ですが、大きい画像でないといえませぬ。

毎号違ったお題にそってヒミツの体験を告白する(？)お題はなあに？も、投稿大歓迎。読んでフトコロが.....いや、ココロが温かくなるような話を期待しています。そんな話とても恥ずかしくて書けないという方も、思いきってどうぞ！

原稿送付先 〒112-0003東京都文京区春日2-24-11 春日Shimaビル (社)日本ハンググライディング連盟 FAX.03-5840-8312 koho@jhf.skysports.or.jp

学連だよ！全員集合！！

みなさん、こんにちは！この前まで冬休みだったのに、もうすでに春休みという学生もいるのではないのでしょうか？まだテスト中という人、あとひとふんばりです。「もーいくつ寝るとー」と歌いながら、テスト勉強に励みましょう。楽しい春休みが待ってますよ！というわけで、今回は春休みのビッグイベント特集です。

春休みのイベント

さて、みなさん！春休みの予定は立ってますか？スキーに行く人、海外に行く人、いろいろだと思いますが、学生なら忘れるわけにいかない春休みのイベントのお知らせです。4年生にとっては大学生として最後の大会になります。学生最後の思い出作り、また1年間の締めくくりとして、おおいに盛り上がりましょう。しっかり手帳に書き込んでおいてください！

第6回HG学生選手権大会

日時：3/11(月)～13(水)、14(木、予備日)
場所：広島県神ノ倉周辺フライトエリア
参加資格：P証以上所有者
事前受付は10000円で2/14(木)～28(木)の2週間です。それ以後から大会当日朝までは当日扱いとし、12000円とします。

<エリア紹介>

今回学生選手権が行われるエリアは広島

市街にわりと近く、昨年度の西日本HG学生選手権、毎年行われている平和カップ、中国学生フライヤー連盟冬合宿イン神ノ倉等で飛んだことのあるフライヤーも多いと思います。このエリアにはテイクオフポイントが2つあります。

神ノ倉T.O 高度差約360m北～西
荒谷山T.O 高度差約390m東～南
強風や雨、雪以外は飛べるというフライト率の高いエリアです。

<学生リーグ情報>

ハンググライディングシリーズ(2001年1月1日から12月31日)の結果を加えました。これにより数名の選手がランクアップしています。学生リーグのHPで確認してください。さらにハング学生選手権の結果が加わり、今年度のHG学生リーグの最終ランキングが決まります。HGシリーズの大会に出られる人はドンドン参加をしましょう！

また、HS大会に出られない人も学生選手権に備えしっかり自分の飛びを磨きましょう。学生リーグの年度は4月からその年度の最後の学生大会までとします。よって、今年度はハング学生選手権が最後の大会となります。みなさん、奮って参加しましょう！

PGスチューデントフェスティバル

日時：3/25(月)～27(水)
場所：茨城県足尾エリア

参加資格：オープンクラス NP証以上
エキスパートクラスP証以上
<エリア紹介>

今年で3回目になるPGフェスタ。去年に続きクロスカントリーのメッカと言われる足尾エリアで開催します。春の足尾でのハイレベルな戦いが期待されます。足尾エリアは、東T.Oをメインとし、高度差は360m。南側にもT.Oをもち、北東から南風まで幅広く飛ぶことが出来ます。

PGフェスタ当日の手伝いをしてくれるスタッフを募集します。また、レセプションのみ参加というエントリー費も設ける予定です。NPを持っていないため大会に出られない人、大会に興味のある人、実行委員長まで連絡をください。ぜひ、遊びにきてください。それでは、また次回！

学連への連絡は.....
「学連に加盟したい!」や「もっと詳しく学連のことを教えて欲しい!」やその他学連への応援・苦情などは下記まで。
岡崎勢津子(日本大学3年)
Eメール: jssf2001@hotmail.com
学連HP <http://www.geocities.co.jp/>

Out-doors/2273/
HG学生リーグ <http://jhf.skysports.or.jp>
/HG/Student/

@sky

空のかお

その42

小林 泰さん

(こばやし やすし)



高校のときにテレビで見てから、大学ではパラをやるかと決めていたという小林君。中央大学の2年生で、関東学生連盟の会長になりました。友達からは、なぜか「たろう」と呼ばれています。「自分の中で、パラというものがあるのを見つけたためにがむしゃらに飛びたい」というストイックな面を持つ一方で、エリアでは、いつも「わんぱく小僧」という言葉がぴったり当てはまるほどはしゃいでいます。「グライダーが体の一部になるまでコントロールできるようにになりたい」というのが、始めた時からの目標だそうです。学連では何か面白いことをやり、多くの学生に楽しさを味わってもらって、自分も楽しみたいとのこと。

ぜひ、がんばってくださいね!!

連絡ノート
JHF
フライヤー

IPPIカード申請はお早めに
今年のゴールデンウィークはどちらへ? 海外に飛びに行く方には、IPPIカードを持参されることをお勧めします。

IPPIカードとは、国際技量証明書のこと。FAIに参加している世界中の国々で有効です。すでに取得されているJHF技能証をFAI規定にあわせて書き換えるので、取得のための検定等はありません。

IPPI申請書はJHF事務局にご請求ください。JHFホームページから取り出すこともできます。申請料は3,000円です。必ず申請料を振り込んだ控えと申請書を一緒に送ってください。

技能証申請数が多くなる時期なので、申請は出発間際ではなく、時間に余裕を持って行ってください。ご不明の点はJHF事務局までお問い合わせを。

フライヤー会員証が着かない時は

JHFにフライヤー会員登録をしたのにまだ会員証が届かない.....申請(送金)してから3週間経っても会員証未着の場合は、JHF事務局までご連絡ください。

住所等の変更は必ずご連絡を

(財)日本航空協会にフライヤー登録中の方も、JHFフライヤー会員登録が済んでいる方も、お名前や住所が変わったら、必ずJHF事務局にお知らせください。

JHFフライヤー会員の皆さんにはJHFレポートを偶数月の20日頃にお届けしていますが、毎回何十通ものレポートが住所不明で戻ってきます。皆さんからお預かりしている会費が、こんな形で無駄になるのは、たいへん残念です。

役所や郵便局に氏名・住所変更を届ける際に、JHFにも連絡することを思い出してください。

PR用の写真を提供してください

JHFは、各種の情報誌からハング・パラグライディングの写真提供の依頼をよく受けます。ハング・パラの普及振興のため、積極的に協力したいと思うのですが、JHFは貸し出す写真を持っていません。

そこで、皆さんにお願いします。ハング・パラの楽しさやおもしろさを伝えられる写真を、JHFに提供してください。ポジ、プリント、どちらでも結構です。デジカメデータは不可。申し訳ありませんが、謝礼はありません。ご連絡はJHF事務局まで。

JHF事務局

TEL:03-5840-8311
FAX:03-5840-8312
E-mail:jhf@skysports.or.jp

12月・1月のパイロット証取得者

(敬称略 数字は認定日)

パラグライディング

12/3 山田 和彦	12/6 中村 博
12/4 河野 晴之	12/10 秋元 英二
12/4 福島 慎一	12/10 坂本 留美
12/4 岡野 明美	12/10 佐々 教子
12/4 山際 祐子	12/10 宮内 健吾
12/4 袴田由加里	12/10 市ノ沢 浩
12/4 久穂真一郎	12/11 鶴岡 良美
12/4 大場 公哉	12/11 池田 亮
12/4 薄井 祥子	12/12 佐藤 千嘉
12/4 野本 昌紀	12/12 小森 厚
12/4 浜野 祐三	12/12 大城 幸枝
12/4 櫻井 滋	12/12 甲斐 利明
12/4 奥見 裕邦	12/12 鶴田富士雄
12/4 田村 孝行	12/13 日高 徹
12/4 伊藤 國寿	12/13 各務二三清
12/4 伊達 英史	12/13 高橋 信雄
12/6 大根田恵蔵	12/13 吉川 浩
12/6 上倉紀代美	12/13 大前 秀秋
12/6 谷上由香里	12/13 山本 理佳
12/6 櫻井 正夫	12/13 河野 次男

12/13 谷口 良一	12/28 左川 雅弘	1/24 竹鼻 正隆
12/18 齋藤 正己	1/11 梅村 敬一	1/24 森本 耕造
12/19 辰巳 守	1/11 早川 和平	1/24 鈴木 聡
12/19 大石 博	1/11 奥松 俊博	1/24 前川 昭治
12/19 吉瀬五十六	1/11 坂本 精志	1/25 皆川 進
12/19 山口 雅子	1/11 細川 哲央	1/25 岩瀬 吉亮
12/19 今野 啓啓	1/11 落合 雅彦	1/25 中島 浩行
12/19 金田 登	1/11 保井 麻希	1/25 三宅 康夫
12/21 山口 忠義	1/11 原 正明	1/25 今野 潤
12/25 松井 嘉樹	1/17 引馬 康行	1/25 成田 準
12/25 山本 剛範	1/17 緒方 政彦	
12/25 渡辺 和子	1/18 水沼 誠	ハンググライディング
12/25 島崎 信彦	1/18 山野 高広	12/6 小林 肇
12/26 熊崎 泰彦	1/18 松下 明弘	12/10 松崎 哲也
12/26 延沢慎太郎	1/22 池田 敏充	12/12 佐々木英俊
12/26 小林 泰	1/22 河野 真吉	12/18 中野 潤一
12/28 高橋 由江	1/22 高橋 孝	12/18 斉藤 裕司
12/28 堂脇 実	1/23 中安香代子	1/17 氏田 敏彦
12/28 杉崎 洋文	1/23 伊藤 歩	1/22 後藤 勝彦
12/28 原 崇久	1/23 松澤 賢哉	1/22 金子 健一

1月31日までのフライヤー会員登録数

登録年数	11月31日現在の有効登録数	12月の登録数	1月の登録数	1月31日現在の有効登録数
1年		361	229	
3年		194	136	
合計	17,023	555	365	17,657

12月・1月の技能証発行数

ハンググライディング				パラグライディング			
技能証種類	12月の発行数	1月の発行数	1月31日までの発行数累計	技能証種類	12月の発行数	1月の発行数	1月31日までの発行数累計
P証	6(0)	3(0)	4,970	P証	61(15)	29(3)	19,614
C証	7(1)	5(1)	6,985	NP証	64(20)	34(6)	10,436
B証	29(8)	2(0)	11,685	B証	146(42)	41(14)	42,066
A証	24(6)	1(0)	12,110	A証	200(68)	77(10)	46,587
補助動力証	0	0	129	補助動力証	3(0)	1(0)	937
XC証	10(0)	0	1,168	補助動力NP証	0	0	66
タンデム証	3(0)	0	41	補助動力B証	0	0	133
				補助動力A証	0	0	162
				XC証	29(6)	12(0)	4,019
				タンデム証	30(0)	10(1)	626

*()内の数字は発行数中の女性の人数です。

編集を終えて

新年早々、空中接触事故があった。残念。危険回避を素早くするためには、さまざまな情報を瞬時にとりこみ判断することが大切。外からの情報の最も大きな「窓口」である目をも選んだ状態にしておきたい。 JHF広報出版局

JHFホームページもご覧ください。

<http://jhf.skysports.or.jp/>

JHFレポート3・4月号(No.170)

発行日 2002年2月20日 定価10円
発行 (社)日本ハンググライディング連盟
〒112-0003 東京都文京区春日2-24-11
春日Shimaビル8階
TEL.03-5840-8311 FAX.03-5840-8312

E-mail : jhf@skysports.or.jp

編集 JHF企画部広報出版局
印刷 日本印刷(株)

この印刷物は再生紙を使用しています。